

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人  
正友会

# 目 次

	頁
I. 法人本部	1
II. 特別養護老人ホーム満濃荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	11
(2) 通所介護事業	25
(3) 居宅介護支援事業	27
(4) その他の事業	29
1.満濃荘老人介護支援センター	
2.給食サービス事業	
3.生きがい活動支援通所事業	
III. 特別養護老人ホーム仲南荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	32
(2) 通所介護事業	47
(3) その他の事業	49
1.仲南荘老人介護支援センター	
2.生きがい活動支援通所事業	
IV. 特別養護老人ホームやすらぎ荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	51
(2) 通所介護事業	65
(3) 居宅介護支援事業	67
(4) その他の事業	69
1.給食サービス事業	
2.生きがい活動支援通所事業	
3.ふれあいランド友の会	
4.まんのう町琴南高齢者生活福祉センター	
V. グループホームよりあい	
(1) 認知症対応型共同生活介護事業	72
(2) 通所介護事業	85
VI. デイサービスセンターおひいさん	
(1) 通所介護事業	87

## I. 法人本部

## I 法人本部

令和元年度は第3期中期経営計画のスタート年として、3年間の具体的な目標を掲げて取り組みました。あらたな計画のもと、実施に向けて試行錯誤を繰り返しながら、各会議体がそれぞれの目的や役割を意識しました。組織全体が中長期的な視点で考えることができるように推進シートを改定し、進捗を都度確認しました。

### □私たちの職員

介護職員の人員配置が整わず、入職と退職の多い一年となりました。残業等が続くことにより、仕事に不安や疲れを感じて職員が離職したことは残念でした。一方で中途入社の職員が新たな仲間として加わり、今までの社会経験を活かして役割を担っています。ノーリフティングの取り組みを職員の労働安全衛生の視点でとらえ、スタンディングリフトをはじめ多数の福祉用具を導入しました。年休取得の義務化に伴い、計画的に休みを取得することを進め、心身のリフレッシュを図りました。

外国人労働者として留学生・技能実習生を積極的に受け入れ、一緒に仕事をする仲間が増えました。少しずつ日本での生活にも慣れ、職員の一人として自覚を持って仕事に従事しました。

### □私たちのサービス

ポジショニングの知識と技術の習得と浸透を進めました。福祉用具を活用し、一人一人のご利用者に合った介助方法を検討・実施しました。1月には香川県老人福祉協議会が主催する研修事業を受託し、満濃荘を会場として技術研修を実施しました。他の法人からも受講者が集まり、ナチュラルハートフルケアの講師に指導いただきました。スタンディングリフト導入時にも、関係者の方に助言をいただき、取り組む中での課題を一つずつ解決しました。

中期経営計画の初年度ということで、日頃お世話になっている協力会社のご担当者に集まつていただき、経営方針の説明と意見交換の場を持ちました。

各施設で家族会やアンケートを実施しました。また、多くのボランティアも受入れ、ご意見を伺いながら活動を継続しました。

### □私たちの地域

法人全体の地域活動だけでなく、各施設が拠点となった地域活動が活発に進みました。それぞれの施設の持っている機能や地域性を活かして、企画・実施しました。

青色防犯パトロールは琴平警察署担当者の指導のもと、実施職員を増員して講習を受講しました。学校の登下校時に限らず、日常の仕事に合わせての活動に変更しました。

長年様々な協力をいただいていたボランティア団体「野菊の会」が活動を終えることになりました。夏祭りのボランティアとして引き続き協力いただける方々も多数おられ、あらためて地域の方々に支えていただいていることを実感しました。

### □私たちの組織

経営幹部会と統括課長会を毎週開催し、法人全体の方向性を確認しながら、具体的に計画を立て、組織的に事業運営を進めました。年度前半は介護ソフトの契約更新に伴い、プロジェクトチームを立ち上げて、その有効活用を検討しました。一部試験的にタブレ

ットを導入し、記録作業の効率化と記録したデータの分析方法を検討しました。年度後半は事業継続計画策定のためのプロジェクトチームを立ち上げ、大規模災害が発生した場合に備えて、各拠点が準備すべき体制や備蓄品等の検討を行いました。

長期的な方向性を定めて計画化していくことは、十分な議論ができず、今後の課題として残りました。

#### 法人委員会

##### ◇ 研修委員会

- ・復命書とアンケートの様式を見直し、新しいものを使用開始しました。
- ・各施設で行っている研修の内容を定例会で確認しました。内容を整理し、統一できる研修は各法人委員会や担当者会に依頼し、研修資料の統一化を図りました。次年度の運用に向けて準備を進めました。
- ・階層別研修の目的を職員のスキルアップとし、次のステップを意識できる内容に改めました。

##### ◇ サービス向上委員会

- ・ご利用者アンケートは項目内容を変更して実施しました。集計した結果と改善内容をとりまとめ、回答いただいた方々に郵送にて報告しました。
- ・ご意見受付書でいただいたご意見への対応策が継続できているか確認し、メンバー間で情報を共有しました。
- ・第三者委員会を年2回開催し、期間中にいただいたご意見や、事故の状況を報告しました。第三者委員からの的確な助言をいただくとともに、職員には励ましの言葉をいただきました。

##### ◇ リスクマネジメント委員会

- ・毎月の委員会で、各施設で起こった特徴的な事故やヒヤリハット事例を持ち寄り、情報を共有しました。
- ・自然災害への対応策は、他の会議体からの課題提起を受け、施設ごとに求められることが何かを考える機会となりました。
- ・リスクマネジメントに関する研修資料の統一に向か、メンバー間で話し合って作成しました。今後の施設研修において活用していきます。

##### ◇ 地域福祉委員会

- ・法人全体や各施設が行っている地域に向けた活動内容を委員会で共有しました。
- ・定例となっている地域行事は企画・進行をメンバーが担当し、実施することができました。企画立案が直前になってしまったものもあり、前もって準備をしていくことが課題となりました。
- ・地域活動の職員への啓発は、委員会内での話し合いに留まりましたが、参加する目的や啓発の重要性を再認識する機会となりました。

##### ◇ ポジショニング委員会

- ・状況確認シートの見直しを行い、個々のご利用者のアセスメントを基に、個別の対

応を行いました。また、委員会で事故やヒヤリハットの確認を行い、再発防止につなげました。

- ・基本技術の標準化に向けてマニュアル作成を行いましたが、基礎評価研修の実施には至らず、今後の課題となりました。
- ・福祉用具の貸借までは至りませんでしたが、使用方法を継続して確認し、情報共有することで、効果的な使用につなげました。

◇ 広報委員会

- ・各施設の広報誌に地域活動を掲載することになり、各施設で実施している地域活動を委員が把握して記事にしました。社内報でも地域活動の特集を組み、記事作成を進めました。
- ・ホームページが見やすいものとなっているか議論を重ね、「窓」バックナンバーの表示方法を変更しました。その他の変更案も出ましたが、改善は今後の課題となりました。

**新卒採用推進チーム**

- ・チームメンバーが学生と近い目線で話をし、正友会らしさを自分たちの言葉で伝えることができました。上半期で対応した学生が期間をおいて受験に至り、内定者が8名となりました。学校や学生と継続して連絡を取ったことが結果につながりました。
- ・チームメンバーが新規採用者フォローアップ研修に参加し、身近な先輩として、自身の経験を伝えました。
- ・積極的にインターンシップ学生を受け入れ、レクリエーションやリフト・おむつ体験をする機会を持ちました。学生の要望も踏まえてスケジュールを柔軟に設定し、関心を持っていただけるメニューを提供しました。

**介護ソフト活用推進チーム**

- ・各事業・部署にて介護ソフトへの入力項目を検討し、チーム会議で情報共有しました。タブレットの導入に合わせて記録シートを作成し、入力項目の統一化を図りました。
- ・満濃荘、やすらぎ荘でタブレットを新たに導入し、実際に使用する職員から操作性や入力上の課題を聞き取りながら、運用を開始しました。入力したデータの活用は今後の課題となりました。
- ・記録の重複を洗い出し、事故報告書の様式のデータ化を検討しましたが、実用には至らず、課題を残しました。

**事業継続計画策定チーム**

- ・令和元年10月よりプロジェクトチームを立ち上げ、中期経営計画に掲げている事業継続計画の策定に向けて検討を行いました。大規模な地震があった場合の被害状況を想定し、必要な連絡体制や事前に備えておく物品・食料等の検討を行いました。
- ・基本的な考え方の整理はできましたが、各施設の詳細な計画立案は作業として次年度へ持ち越しました。
- ・作成した事業継続計画に沿った訓練も、次年度への引き続きの課題となりました。

## 役員会等会議開催状況

日付	内容	出席者
5月15日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
5月21日	監事監査	監事2名、職員3名
5月30日	理事会	理事7名、監事2名
6月18日	評議員会	評議員6名、監事2名、理事1名
6月18日	理事会	理事7名、監事2名
6月12日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員13名
11月11日	理事会	理事7名、監事2名
11月20日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員12名
11月26日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
12月10日	理事会	理事7名、監事2名
3月10日	理事会	理事7名、監事2名
3月24日	評議員会	評議員7名、監事2名、理事1名

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
4月1日	新入職員研修	4	法人が大切にしていることの確認とこれからの目標について考える時間とした。
4月1,2,3日	人事考課制度研修	32	下半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。またエルダー制度の一部変更や制度改正による年休取得、看護・介護休暇について確認の機会をもった。
4月26日 5月24日 6月21日	新規採用者フォローアップ研修	4	新人職員が定期的に集まり、自身の成長が確認できる機会とした。先輩職員からのアドバイスを受け、不安の解消や次月への課題を見出すことにつなげた。
8月28日		4	
8月28日		3	
8月28日	2年目職員研修	10	悩んでいることや不安に思っていることを共有し、今後の職務を前向きに取り組むために、意見交換を通して自分を見つめ直す機会とした。
10月4,9日	人事考課制度研修	12	上半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。
10月7日	新規採用者フォローアップ研修	1	入社半年を振り返り、自分の成長を確認した。また先輩からのアドバイスを聞くことにより年度後半の課題を明確にした。
10月30日	エルダー継続研修	2	エルダーとしてどのように関わってきたかを振り返り、困っていることや悩みなどを話し合い、共有した。また後期の課題を考える機会とした。
11月23日	内定者研修①	4	内定式終了後に、内定者が社会人になることを自覚する目的で行った。特養3施設を見学して法人事業の理解を深めるとともに内定者同士の交流を持った。
12月22日	内定者研修②	4	GHよりあいとデイおひいさんを施設見学。内定者が社会人になることを自覚し、内定者同士・先輩職員との交流を深めて、所属意識を高めた。
12月18日	中堅職員研修①	12	今の自分の現状を見つめ直し、中堅職員に向けてステップアップするために求められていることを理解し現場に活かすための意見交換をした。これからの課題について再認識した。
1月28日	監督職研修	27	講師に産業カウンセラーの國村博子氏をお招きし、お互いが気持ち良く働ける職場づくりをテーマに実施。役職者としての「きき方」を学ぶ機会とした。
1月29日	中堅職員研修②	18	講師にストロングポイントの坂田様をお招きし、チームの機能をより向上させるため必要なスキルとして「仕事の受け方、報告のしかた」のトレーニングを行った。
2月6,14日	主任・主任補佐研修	23	講師にAii LABOLATORYの國村博子氏をお招きし、お互いが気持ち良く働ける職場づくりをテーマに実施。指導職としての「伝え方」を学ぶ機会とした。
2月6,13日	内定者研修(①②追加)	1	2/6にGHよりあいとデイおひいさんを施設見学。2/13にやすらぎ荘と仲南荘を見学した。内定者が社会人になることを自覚し先輩職員との交流を深めて、所属意識を高めた。
2月25日	組織力向上活動発表会	101	日頃チームに分かれて行っている活動をふり返り、具体的な取り組みの課題や成果を整理・確認するとともに、今後のさらなる組織力の向上につなげていくことを目的に1年間の取り組みを発表した。

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
3月18日	新エルダー研修	8	新しくエルダーとなる職員が、エルダー制度について理解し、新人職員との接し方を学んだ。
3月23,24日	新規採用者研修(合同)	8	新人職員が介護職員としての基本姿勢と法人組織の一員としての意識を持てるよう実施した。
3月24日	基本介護技術研修	4	新人職員と一緒に車椅子の操作や食事、排泄ケア、ノーリフティングケアについて学んだ。
3月26,27日	新規採用者研修(配属先)	8	配属先においてより実務に沿った研修を行うことで、入社に備えることを目的として実施した。

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月11日	災害福祉支援ネットワーク研修会	高松		事業部長	篠原匡生
4月19日	香川県福祉懇談会	"		理事長	長谷川智一
4月19~20日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京	事務局長	丸畑 望
5月9日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松		企画部長	合田香織
5月15日	長尾会館ふれあいサロン	まんのう		事業部長	篠原匡生
5月17日	まんのう町給食サービス事業運営会議	"		事業部長	篠原匡生
5月18日	まんのう町商工会通常総会	"		本部長	中川芳栄
5月20日	社会福祉懇談会 総会、経営セミナー		東京	理事長	長谷川智一
5月20~21日	"		"	事業部長	篠原匡生
5月24日	香川県経営協 理事会・総会	高松		理事長	長谷川智一
"	新卒対象求人手続説明会	丸亀		事業部長	篠原匡生
5月27日	協同組合クローバー 理事会及び通常総会	坂出		理事長	長谷川智一
"	"	"		事務局長	丸畑 望
"	"	"		事業部長	篠原匡生
5月28日	四国経営品質協議会定例会	高松		事務局長	丸畑 望
6月7日	善通寺社会保険委員会総会及び事務研修会	三豊		事務員	高井美穂
6月10日	まんのう町社会福祉協議会理事会、共同募金委員会運営委員会、審査委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
6月17日	まんのう町給食サービス事業運営会議	"		事業部長	篠原匡生
6月27日	まんのう町生活支援体制整備事業 第1層協議体会議	"		理事長	長谷川智一
6月28日	まんのう町社会福祉協議会理事会	"		理事長	長谷川智一
7月1日	「災害被害の予見力向上」研修会	高松		事業部長	篠原匡生
7月4日	四国経営品質協議会 定例会		徳島	事業部長	篠原匡生
7月5日	全国経営協 中国・四国ブロック会議		岡山	理事長	長谷川智一
7月10日	社会福祉会計簿記「入門講座」	高松		事業部長	篠原匡生
7月12日	香川県小規模法人等ネットワーク推進セミナー	"		事務局長	丸畑 望
7月18日	まんのう町地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
7月20日	中四国ブロック防犯ボランティアフォーラム	琴平		事業部長	篠原匡生
7月25日	まんのう町給食サービス事業運営会議	まんのう		事業部長	篠原匡生
"	認知症カフェボランティア等交流会	"		事業部長	篠原匡生
7月27~28日	地域福祉実践セミナーin徳島		徳島	事業部長	篠原匡生
7月31日	都道府県経営協セミナー(前期)	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		事務局長	丸畑 望
8月1日	香川県内福祉系企業の採用担当者意見交換会	"		事務局長	丸畑 望
8月7日	長尾会館ふれあいサロン	まんのう		事業部長	篠原匡生
8月16日	経営戦略セミナー	高松		事務局長	丸畑 望
8月23日	香川県経営協 理事会	"		理事長	長谷川智一
8月30日	四国経営品質協議会定例会	"		企画部長	合田香織
9月3日	研修を受講しても現場に落ちない本当の理由と解決策セミナー	"		企画部長	合田香織
9月12~13日	全国経営協 全国社会福祉法人経営者大会		鳥取	事業部長	篠原匡生
9月13日	ノーリフティングケア推進のための研修事業検討会	高松		事務局長	丸畑 望
9月13~14日	おむつフィッター3級 香川研修	"		企画部長	合田香織
9月24日	四国経営品質協議会 幹事会・定例会	"		事務局長	丸畑 望
9月26日	まんのう町生活支援体制整備事業第1層協議体会議	まんのう		理事長	長谷川智一
10月3日	まんのう町地域密着型サービス運営委員会	"		理事長	長谷川智一
10月14~16日	ベトナム現地視察		ベトナム	事業部長	篠原匡生
10月16日	香川県経営協 理事会	高松		理事長	長谷川智一
10月28日	琴平町・まんのう町 正友会関係協議会	まんのう		本部長	中川芳栄
"	"	"		事業部長	篠原匡生
11月9日	自主防犯活動リーダー研修会「防犯アカデミー2019」	高松		事務局長	丸畑 望
11月13日	まんのう町社会福祉協議会理事会、共同募金委員会運営委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
11月18日	働き方改革関連法等読み解きセミナー	高松		事務局長	丸畑 望
11月19日	まんのう町生活支援体制整備事業 第1層協議体1日視察研修	まんのう・綾川		理事長	長谷川智一
"	年末調整説明会	丸亀		事務員	高井美穂
11月21~22日	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
"	"	"		事務局長	丸畑 望
11月28日	人権問題研修講演会	丸亀		企画部長	合田香織
11月29日	人事労務管理セミナー	高松		企画部長	合田香織

社会福祉法人 正友会

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
12月2～3日	社会福祉懇談会 経営セミナー		東京	事務局長	丸畑 望
"	"		"	事業部長	篠原匡生
12月3日	部落解放香川県講演会	高松		企画部長	合田香織
12月6日	中讃圏域における災害時の福祉支援体制の構築に関する情報共有圏域会議	丸亀		事業部長	篠原匡生
12月14日	まんのう町社会福祉大会	まんのう		理事長	長谷川智一
12月17日	介護ロボット香川フォーラム	高松		事業部長	篠原匡生
1月14～18日	社会福祉施設長資格認定講習課程		神奈川	事業部長	篠原匡生
1月17日	四国経営品質協議会定例会	高松		本部長	中川芳栄
"	社会福祉法人の合併事例を通して考える事業展開のあり方研修会	"		理事長	長谷川智一
"	"	"		事務局長	丸畑 望
1月23日	まんのう町生活支援体制整備事業第1層協議体会議	まんのう		理事長	長谷川智一
1月24日	「就労サポート」活用セミナー	丸亀		事務局長	丸畑 望
"	改正女性活躍推進法等説明会	高松		企画部長	合田香織
1月30日	香川県経営協理事会	"		理事長	長谷川智一
"	都道府県経営協セミナー(後期)	"		理事長	長谷川智一
"	"	"		事業部長	篠原匡生
2月3日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	丸亀		企画部長	合田香織
2月5日	香川おもいやりネットワーク事業実践総括セミナー	高松		事業部長	篠原匡生
2月10日	まんのう町共同募金委員会運営委員会・審査委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
2月13日	まんのう町地域密着型サービス運営委員会	"		理事長	長谷川智一
2月19日	若年性認知症自立支援ネットワーク研修会・会議	高松		事業部長	篠原匡生
3月12日	認知症カフェ事業相談員等連絡会	まんのう		事業部長	篠原匡生
3月19日	まんのう町社会福祉協議会理事会	"		理事長	長谷川智一

## 職員採用説明会

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
5月27日	若年者就職説明会	丸亀		企画部長	合田香織
6月25日	福祉のしごとサポートフェア	"		企画部長	合田香織
7月24日	福祉の職場説明会	高松		企画部長	合田香織
8月21日	かがわーくフェア(夏の就職面接会)	"		事務局長	丸畠 望
"	"	"		企画部長	合田香織
9月26日	障がい者就職面接会	宇多津		事務局長	丸畠 望
"	"	"		企画部長	合田香織
10月1日	就職説明会in香川短期大学	"		企画部長	合田香織
10月31日	高齢者対象就職説明会	丸亀		企画部長	合田香織
11月8日	若年者就職説明会	"		企画部長	合田香織
11月11日	介護就職デイ 事業所説明会	"		企画部長	合田香織
11月18日	"	"		企画部長	合田香織
11月27日	業界研究合同企業セミナー	善通寺		企画部長	合田香織
1月30日	福祉の仕事サポートフェア	高松		事務局長	丸畠 望
"	"	"		企画部長	合田香織
2月8日	「看護」の仕事に就きたい方の就職フェア	丸亀		企画部長	合田香織

## まんまんカフェおよびさん 令和元年度 実績

毎月第4土曜日 13:30~15:30 会場…よりあいデイサービスフロア (参加人数にはボランティアも含む)

開催日	担当	参加者数	参加職員	内容
4月27日(土)	やすらぎ荘	17	6	認知症講座(認知症ってなに?)、いちご大福作り、健康体操
5月25日(土)	満濃荘	17	7	認知症講座(認知症の症状)、身体に良い食べ物の紹介 頭と身体の体操
6月22日(土)	仲南荘	9	5	認知症講座(認知症と物忘れ)、ういろう作り、健康体操 緑茶の美味しい煎れ方と効能の話し
7月27日(土)	よりあい	20	5	認知症講座(認知症への予防)、手作リスイーツ、健康体操 気持ちが楽になる話し(禅)
8月24日(土)	やすらぎ荘	18	6	認知症講座(認知症の相談はどうするの?) アロマキャンドル作り、健康体操
9月28日(土)	満濃荘	16	7	認知症講座(認知症と地域)、キャンドル作り、健康体操
10月26日(土)	よりあい	20	4	認知症講座(認知症の方へのかかわり方) エンディングシート紹介、健康体操 気持ちが楽になる話し第2弾
11月23日(土)	仲南荘	14	4	認知症講座(認知症の方と暮らすには) 新聞紙を使ったエコバック作り、健康体操
12月21日(土)	やすらぎ荘	11	6	認知症講座(認知症の方の想い)、大学芋つくり ミニクリスマスツリー作り、健康体操
1月25日(土)	満濃荘	16	5	認知症講座(認知症の方への支援は)、恵方ロールケーキ作り ポカポカ体操
2月22日(土)	よりあい	20	6	認知症講座(認知症は治療できる?) 何処でもベルト(杖立て)作り、健康体操
3月28日(土)	仲南荘			感染症の対策により中止

## 地域との交流

開催日	対象者	人数	参加職員	内容
8月5日(月)	吉野地区の地域住民	6	3	「まんのう町社協 サマースクール」 会場:満濃荘 施設見学、高齢者疑似体験、食事介助体験
8月8日(木)	吉野地区の小学生と保護者	24	7	「吉野公民館こども向け介護教室」 会場:仲南荘 施設見学、介護予防体操、高齢者向けレクリエーション体験、○×クイズ
9月21日(土)	ふれあい祭り来場者		6	香川県農協協栄支店地域ふれあい祭りへ参加 介護相談窓口、スライドショー(正友会の紹介)、高齢者疑似体験 キッズコーナー
10月26日(土)	オイスカ祭り来場者		3	オイスカ祭りへ参加 クラフトコーナー、芋ほり体験等のボランティアスタッフとして参加
11月7日(木)	香川県グラウンドゴルフ協会所属団体	237	15	まんのう町かりんの丘公園にて第2回正友会杯グラウンドゴルフ交流大会を開催

## II. 特別養護老人ホーム

満濃荘

### (1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

介護職員の人員不足が深刻になり、ショートステイの利用制限を行い、さまざまな方々にご迷惑をお掛けする年となりました。また、当たり前のことが当たり前にできない状況となりご意見をいただくこともありましたが、施設全体として受け止め、改善していきました。年度末には新型コロナウイルスの影響で面会制限をさせていただくこととなり、ご家族や地域との交流ができなくなりました。ご利用者やご家族、また地域の方々との関わりがご利用者にとっても、施設にとっても重要だと改めて気づかされました。

#### 介護老人福祉施設

##### 1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者の変化に気付いた時は他部署と情報を共有し、相談を行い、必要に応じて速やかにご家族に報告を行いました。ご家族と話し合うことで、お互いの立場や思いを尊重しながら対応しました。
- ・介護職員の人員減少に伴い、日常生活のなかでお待たせしてしまう場面もありました。また、ご利用者との関わりを充分にとることができず、ご意見をいただいたことも多々ありました。
- ・対象者は少数ですが新しく導入したスタンディングリフトや床走行式リフトを活用することができました。より安全にご利用者の移乗ができ、職員の腰痛予防にもなりました。

##### 2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・日々の状態観察を介護職員と協力して行い、状態悪化時にはご家族の意向を確認し、主治医と今後の対応を話し合いました。
- ・日常生活の中において、ご自分でできることが継続できるように個別機能訓練計画を考えました。継続した機能訓練を行い、身体機能を維持しています。

##### 3. 食生活の充実

- ・委託先栄養士と連携し、献立には旬の食材を取り入れ、季節を感じていただける食事を提供しました。嗜好調査を実施し、大勢の方から、満足しているとの回答をいただきました。
- ・落ち着いて食事が摂れるようにテーブルを囲むご利用者の配置を随時、見直しました。
- ・毎月の栄養ケアカンファレンスにて、ご利用者の食事状況や体重の推移等から、状態に応じた食事形態の検討や栄養補助食品を提供しました。
- ・給食委託会社と協力し、厨房内の衛生管理を徹底し、安全に食事が提供できるように確認していました。

##### 4. 適切な相談支援

- ・サービスの利用を検討されている方に対して、施設での生活の様子が分かるよう、施設内をご案内し、サービス内容を細かく説明しました。
- ・サービスに関する疑問や相談は、ご利用の有無に関わらず適宜説明しました。ご理解しにくい点も、案内文の活用や電話などで改めて説明し、安心してサービスが利用できるよう

配慮しました。

- ご利用者、ご家族の要望をお聞きし、チームや部署間で話し合いながら、要望が実現できるように支援しました。実現が難しい場合も、ご利用者・ご家族を含めて話し合い、私たちが出来るサービスを提供しました。

#### 5. 積極的な地域社会との交流

- 介護職員の人員不足に伴い、多くの職員が地域行事等へ参加することができませんでした。参加したカフェや地域行事では地域の方とふれ合い、言葉を交わすことで地域とのつながりを実感することができました。
- 年度後半、新型コロナウイルスの流行に伴い、ボランティアの受け入れ停止、そして施設行事やカフェ等の中止もあり、地域とつながる機会が少なくなりました。

#### 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- 介護職員の人員不足が深刻になり、日々の仕事でのコミュニケーションが不足していました。成長する機会を意図的に持つことができませんでした。また、時間に追われる状況の中で相手を思いやり、助け合うことが充分にできませんでした。
- 有給休暇年5日以上は取得できましたが、目標の6日に達していない職員も一部いました。人員不足の中、有給休暇を取得することへの抵抗感がありました。

#### 7. 令和元年度委員会活動

##### ◇研修委員会

- 年間計画に沿って研修を実施することができました。介護職員の研修方法を見直したことでも多くの職員が研修を受け、職務上必要な技術や知識の確認をすることができました。

##### ◇リスクマネジメント委員会（事故防止・感染予防）

- 職員は勿論、外来者への手洗いとうがいを励行し、年2回の研修も行いました。
- ヒヤリハットの毎月の確認、発生した事故の1か月後のモニタリングを行い、対応策の継続実施と再発する事故を確認しました。
- 年2回の火災避難訓練と年1回の地震訓練を実施しました。今年度、火災受信機が新しくなったので使用方法を訓練の中で確認しました。訓練に参加できる職員は限られており、全員がマニュアルを見ながらではなく、行動に移せるようにしていくことが課題です。

##### ◇サービス向上委員会

- ご利用者アンケートにていただいたご意見の中から改善の必要なことについて検討し、対応内容をお返しました。
- ご意見受付書の対応が継続できているかを定期的に確認しました。

##### ◇広報委員会

- 広報誌「あやとりだより」を年2回発行することができました。地域福祉の取り組みを掲

載ることができました。

- ・ホームページ「窓」は、月に1回以上更新することができましたが、掲載する写真や記事の量が少なかったことが課題として残りました。

#### ◇身体ケア委員会（身体拘束・褥瘡予防）

- ・ノーリフティング基礎介護技術の評価は職員人数の減少の為、実施することができませんでした。しかし、ポジショニング推進シートを使用し、ご利用者に合わせた対応の確認を継続することができ、スタンディングリフトや床走行式リフトの福祉用具も少人数対象でしたが活用できました。
- ・虐待に関しては、身体拘束に触れる事案が1件発生しました。ご利用者に対する意識が不十分であったため、施設全体で研修を行い再発防止に取り組みました。

#### ◇地域福祉委員会

- ・年3回のまんまんカフェ、年2回の満ごころカフェを開き、地域の方々との交流を深めました。新型コロナウイルスの影響で満ごころカフェは1回中止しています。
- ・自治体の行事や催し物などに、これまで参加したことのない職員に参加してもらい、施設と地域とのつながりを知ってもらえるようにしました。

#### ◇労働安全衛生委員会

- ・自分自身のストレス状態を把握するために受検希望者（75%）に対してストレスチェックを実施しました。職場の評価結果をもとにストレス解消法について周知しました。
- ・委員会の開催が毎月実施できず、腰痛アンケートと危険個所の点検が行えませんでした。

#### ◇安全委員会

- ・特定行為業務従事者の実技研修を年間計画に沿って実施しました。また、吸引の状況を確認し、ヒヤリハットや事故の情報を共有しました。

#### ◇給食委員会

- ・ご利用者や各部署からの意見や要望を提供する食事に反映させるために、委託先栄養士と協力して味付けや調理法などを検討し、喜んでいただけるよう改善に取り組みました。

## 施設利用状況

入所		退所				月間 空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間 移動				
		施設内	病院						
4月	3	2	0	0	0	2	3.9	2391	
5月	2	0	2	0	0	2	5.3	2475	
6月	4	2	2	2	0	6	6.2	2337	
7月	2	1	0	1	0	2	4.1	2429	
8月	0	1	0	0	0	1	6.8	2399	
9月	3	2	1	0	0	3	7.5	2312	
10月	4	1	1	0	0	2	6.5	2422	
11月	1	1	0	0	0	1	5.4	2363	
12月	1	2	0	0	0	2	5	2444	
1月	3	0	2	0	0	2	6.4	2411	
2月	3	0	1	0	1	2	3.1	2289	
3月	2	0	1	1	0	2	4.9	2474	
計	28	12	10	4	1	27		28746	

介護度別		令和元年度末				年間延べ利用者数
介護度	男	女	計	比率		
要介護 1	0	2	2	2.5	994	
要介護 2	1	2	3	3.8	2012	
要介護 3	9	16	25	31.3	9566	
要介護 4	11	22	33	41.3	10738	
要介護 5	3	14	17	21.3	5436	
計	24	56	80	100	28746	
		平均	3.8			

市町別	年間		
	令和元年度末	入所数	退所数
まんのう町	75	26	20
丸亀市	1	1	3
善通寺市	1	1	2
三豊市	0	0	2
琴平町	2	0	0
姫路市	1	0	0
計	80	28	27

## 外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	1	2	3	4	21	1	3	2	1	7	1	0
入院	83	124	82	46	66	91	100	91	88	82	41	116

## 年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	3	11	9	1	24	85.6	102	72
女性	0	4	22	27	3	56	90.3	101	77
計	0	7	33	36	4	80	89.0		

## 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	1	0	5	15	23	12	23	1

## 入所平均在所期間

男性	2年9か月
女性	3年10か月
全 体	3年6か月

## 診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7	5	7	7	6	8	7	6	7	7	4	10	81
整形外科	2	2	4	2	2	2	1	2	4	1	2	2	26
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	5	4	4	5	5	5	5	4	4	4	4	5	54
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	17	14	18	17	16	18	16	15	18	15	13	20	197

## 診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	19	16	8	15	14	15	10	11	11	14	18	23	174
整形外科	2	0	3	3	6	3	3	1	1	0	0	1	23
耳鼻咽喉科	1	0	0	0	0	1	5	2	1	0	0	0	10
眼科	1	0	4	2	2	5	1	0	1	1	1	0	18
歯科	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	1	0	2	2	2	0	1	1	0	1	0	0	10
泌尿器科	0	0	0	0	1	2	1	0	2	1	1	0	8
脳神経外科	0	2	3	2	1	2	0	1	0	0	1	0	12
精神科	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
合計	24	20	21	26	26	29	21	17	16	17	22	24	263

## リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋肉運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしごり巻き等作業	園芸活動
対象者数	32	5	32	2	1	7	2	3	24	0	0	43	9	0

## 食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
令和元年度末	13	22	21	18	6	80

## 栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
令和元年度末	44	9	0	53

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月4日	まんのう町地域包括ケア推進会議	まんのう町		施設長	植野哲男
4月11日	仲多度南部危険物安全協会理事会	琴平町		"	"
4月19日～20日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	統括課長	小嶺 輝
5月9日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		主任介護職員	西山梨絵
5月10日	仲多度南部危険物安全協会定時総会	琴平町		施設長	植野哲男
"	"	"		機能訓練指導員	中浦雅夫
5月14日	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡会	"		居宅支援課長	小亀育枝
5月15日	琴平町安全運転管理者通常総会	"		施設長	植野哲男
5月17日	まんのう町給食サービス事業運営	まんのう町		栄養士	岡崎円香
5月18日	まんのう町社協長炭支部総会	"		施設長	植野哲男
5月23日・30日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新に係る研修	高松市		介護支援専門員	藤原万寿代
5月28日	医療行為を安全に実施するための施設長研修	"		施設長	植野哲男
5月29日	レクリエーション・アクティビティ研修会	"		通所看護職員	小澤 孝
6月1日・5日～15日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新に係る研修	"		介護支援専門員	藤原万寿代
6月6日	中讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会	"		居宅支援課長	小亀育枝
6月12日・13日	施設等新任職員研修会	"		介護職員	新谷彩花
"	"	"		"	鳥居 涼
6月14日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	統括課長	小嶺 輝
7月4日	四国経営品質協議定例会(ベンチマーク視察)		徳島県	通所生活相談員	加藤玲子
7月24日	まんのう町給食サービス事業運営	まんのう町		栄養士	岡崎円香
7月30日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議	"		介護支援専門員	長尾めぐみ
8月5日～6日	おむつフィッター1級A講座		京都府	主任介護職員	邊見麻衣子
8月6日	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡確認会	まんのう町		居宅支援課長	小亀育枝
8月9日	実習意見交換会	高松市		介護課長	石川智恵美
"	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	統括課長	小嶺 輝
9月18日	地域栄養改善活動従事者研修会	高松市		栄養士	岡崎円香
9月24日	認定調査員現任研修会	"		統括課長	小嶺 輝
"	"	"		介護支援専門員	谷口雅宣
9月25日	香川県認知症介護基礎研修	丸亀市		通所介護職員	岡田麻衣子
9月26日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新に係る研修	高松市		支援課長	溝渕友香理
10月4日・9日・12日・19日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新に係る研修	"		"	"
10月9日	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡会	まんのう町		居宅支援課長	小亀育枝
10月7日～8日	おむつフィッター1級B講座		京都府	主任介護職員	邊見麻衣子
10月11日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	統括課長	小嶺 輝
10月18日	安全運転管理者講習	高松市		施設長	植野哲男
11月5日	香川県老人福祉施設協議会研究大会	"		"	"

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
11月5日	香川県老人福祉施設協議会研究大会	高松市		通所生活相談員	加藤玲子
"	"	"		"	三角龍史
"	"	"		介護職員	津山浩二
"	"	"		"	細川知史
"	"	"		事務員	石崎美由紀
11月15日	中讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会	高松市		居宅支援課長	小亀育枝
11月21日・22日	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	高松市		施設長	植野哲男
11月28日	仲多度南部在宅医療・介護連携事業研修会	まんのう町		介護支援専門員	谷口雅宣
12月13日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	統括課長	小嶺 輝
12月14日	まんのう町社会福祉大会	まんのう町		施設長	植野哲男
12月16日・17日	おむつフィッター1級C講座		京都府	主任介護職員	邊見麻衣子
12月18日・20日・24日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)Aコース	高松市		通所センター長	久保渉 修
1月8日・10日・22日・24日・29日	"	"		"	"
1月15日	要介護認定・課題分析アセスメント方式研修会	"		"	"
1月22日	ノーリフティングケア推進に係る職員育成研修	まんのう町		介護職員	大埜杏里
2月2日～4日	おむつフィッター1級D講座		京都市	主任介護職員	邊見麻衣子
2月21日	排泄ケア研修会	高松市		"	"
"	主任介護支援専門員フォローアップ研修会	"		居宅支援課長	小亀育枝
2月27日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)Aコース	"		通所センター長	久保渉 修
"	介護留学生情報交換会	"		介護課長	石川智恵美
3月12日	認知症カフェ事業相談員等連絡会	まんのう町		通所看護職員	溝渉 孝

## 施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講師
5月	認知症研修	全職員	研修委員会
5月	ケース記録研修	全介護職員	研修委員会
5月24日	防災訓練(夜間想定)	15	防火管理者(施設長)
6月10~14日・24~27日	手洗い研修	50	感染防止委員会
6月	電話連絡研修	全介護職員	研修委員会
6月	危険予知研修	全職員	リスクマネジメント委員会
6月12~27日	身体拘束廃止研修	全職員	各部署長・ユニット主任
7月	緊急時対応研修	全介護職員	研修委員会
8月	コミュニケーション研修	全介護職員	研修委員会
9月4日・11日	AED心肺蘇生研修	25	仲多度南部消防署
9月各部署会	苦情対応研修	全職員	サービス向上委員会
9月各部署会	身体拘束廃止研修	全職員	身体ケア委員会
9月17~30日	食中毒研修	全職員	リスクマネジメント委員会
10月	食事介助研修	全介護職員	研修委員会
10月21~31日	AED心肺蘇生研修	15	介護課長・ユニット主任
10月ユニット会	嘔吐物処理研修	全介護職員	各ユニット主任
11月5日	シェイクアウト訓練	59	小嶺
11月	入浴介助研修	全介護職員	研修委員会
11月	排泄介助研修	全介護職員	研修委員会
12月	医療的ケア研修	全介護職員	研修委員会
1月	介護保険制度研修	全介護職員	生活相談員
1月	プライバシー・個人情報保護研修	全職員	研修委員会
2月	褥瘡予防研修	全職員	身体ケア委員会
2月	ターミナルケア研修	全介護職員	研修委員会
3月26日	防災訓練(火災受信機の使用方法と煙体験)	25	仲多度南部消防署

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
四国医療福祉専門学校	5月23日~6月20日	1	20
香川短期大学	8月5日~8月29日	1	19
四国医療福祉専門学校	8月27日~9月10日	1	10
香川短期大学	10月29日~11月2日	1	5
穴吹パティシエ福祉カレッジ	11月11日~12月4日	1	15

## 事故報告統計データ(年間件数)

## 【1】事故報告

## ①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	528
在宅(通所・居支・その他)	54
計	582

## ②発生場所別

場所	件数
居室	210
廊下	37
浴室	25
脱衣室	19
ホール	164
トイレ	38
食堂	1
玄関	2
施設外	22
その他	64
計	582

## ③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	166
転落	67
誤飲・誤嚥	2
異食	7
服薬管理	18
自傷行為	1
徘徊	4
入所者間トラブル	0
器物損壊	21
皮下出血	116
紛失	5
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	12
職員の介助中の事故	5
私物返し忘れ	28
表皮剥離	50
その他	80
計	582

## ④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時～10時
	10時～12時
昼	12時～14時
	14時～16時
夕	16時～18時
	18時～20時
夜間	20時～22時
	22時～24時
	0時～2時
	2時～4時
早朝	4時～6時
	6時～8時
計	582

## ⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	3
打撲	35
皮下出血	135
すり傷	26
裂傷	17
呼吸困難	0
嘔吐	2
表皮剥離	56
精神不安定	1
外傷等なし	169
利用者の物品管理	58
送迎関係	12
服薬・異常なし	16
その他	71
計	601

## 【2】ヒヤリハット報告

## ①発生月別

月別	件数
4月	37
5月	29
6月	37
7月	31
8月	28
9月	26
10月	20
11月	26
12月	19
1月	26
2月	18
3月	22
計	319

## ⑥発生月別

月別	件数
4月	55
5月	42
6月	56
7月	51
8月	58
9月	42
10月	44
11月	39
12月	49
1月	61
2月	45
3月	40
計	582

## ⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	4
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	4

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	1	4	3	0	1	9
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	0	0	0	1	1
合 計	1	4	3	0	2	10

## 身体拘束の状況

令和元年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

## 年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	3	花見(会食)	80	22	0	0
5	30	家族会(通所)	0	0	13	0
5	23	春の鮎焼き	80	13	0	0
6	2	笑みの集い	1	0	0	0
6	4	交通安全教室(通所)	0	21	0	0
8	17	夏の夕べ	80	0	40	30
9	26	家族会(前期)	0	0	35	0
10	8.9.11	ミニ運動会(通所)	0	60	0	0
11	14	秋のさんま焼き	80	24	0	0
12	23	クリスマス会	80	21	0	9
12	26	もちつき	15	0	0	0
1	25	交通安全教室	0	18	0	0
2	3	節分	80	22	0	0
2	10～3/10	雛飾り	80	0	0	0

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	音楽療法	第1・3水曜日	17	岩永様 他 付添:高橋様	
	散髪ボランティア	第2月曜日	10	為広様 他	散髪
	美容らん	第3水曜日	15	らんモバイルヘアーサロン	散髪、カラー、パーマ
	ハッピー散髪	第1水曜日	20	美容室ふじむら	散髪、カラー、パーマ
	茶華道	毎週水曜日	16	近藤様	
	茶葉詰め	随時	4	黒木様	
	茶葉詰め・ガーゼたたみ	月2回	-	ふれあいグループ	
	花生け	月1回	-	安西様、長谷川様	
通所	運動、知能、創作レク	毎日	18		希望者のみ実施
	読経	毎日	17		希望者のみ実施
	誕生日会	誕生日前後の利用日	20		誕生日カードとプレゼント
	手作りおやつ	月1回	19		季節に応じた手作りおやつ調理を希望者と一緒に実施
	茶華道	毎週水曜	19	近藤様	
	手もみボランティア	月1回	18	仲善広域シルバー人材センター	会話とマッサージ
	紙芝居	月1回	19	紙芝居ボランティア	読み聞かせ交流
	ミュージックレクリエーション	月1回程度	23	笠井様	音楽と運動
	手品、カラオケ、踊り	月1回程度	21	なかよし会	
	踊り、歌の披露	随月	20	しあわせ会	
	踊り、歌の披露	年4回	22	すみれ会	
	フラダンス	年3回	24	仲善広域シルバー人材センター	

## 地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	15	長尾会館ふれあいサロン(最新オレオレ詐欺の講和)	1	0	長尾地区の方々	18
6	5	長尾会館ふれあいサロン(七夕の飾り作り)	1	0	長尾地区の方々	17
7	7	土器川河川一斉清掃	2	1	地域の方々	25
7	8	まんのう社協長炭支部七夕のつどい	1	0	長尾地区の方々・長炭こども園園児	40
8	7	長尾会館ふれあいサロン(香川県警音楽隊演奏会)	1	0	長尾地区の方々	30
10	2	長尾会館ふれあいサロン(秋の運動会)	1	0	長尾地区の方々・長炭小学校児童	47
10	29	オイスカふるさと祭り2019	0	2	オイスカ祭り来場者	/
12	4	長尾会館ふれあいサロン(クリスマス会)	1	0	長尾地区の方々・長炭小学校児童	43
12	13	まんのう社協長炭支部クリスマスのつどい	1	0	長尾地区の方々・長炭小学校児童	40
12	15	四条地区の防災教室	2	2	四条地区の方々	100

## カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加 人数	ボラン ティア数
7	12	満ごころカフェ	運転免許証自主返納、茶話会、ボール体操	10	0
11	22	満ごころカフェ	クリスマスケーキ作り、健康クイズ、ポカポカ体操	14	0

## 特別養護老人ホーム満濃荘

### 期入所生活介護

事前に生活状況、身体状況を確認しサービスを提供させていただきましたが、ケアの統一が不十分だった面もありました。職員配置の関係で利用人数を制限することとなり、ご利用者、ご家族には大変ご迷惑をおかけしました。

### べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	1488	1511	1511	1515	1581	1372	1168	1107	1036	1005	827	912	15033
介護予防)	51	53	59	52	41	41	31	36	31	31	29	31	486
・計	1539	1564	1570	1567	1622	1413	1199	1143	1067	1036	856	943	15519
用率	93.3	91.7	95.2	91.9	95.1	85.6	70.3	69.3	62.6	60.8	55.6	55.3	77.2

### 箇度別利用状況

箇度	令和元年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
支援1	0	0	0%
支援2	1	486	3.1%
介護1	8	1953	12.6%
介護2	11	3944	25.4%
介護3	19	6187	39.9%
介護4	3	1743	11.2%
介護5	5	1206	7.8%
計	47	15519	100%

(2) 通所介護事業

**満濃荘老人デイサービスセンター**

ご利用者の入れ替わりが多く、その都度関係機関と連絡を取り、情報収集に努めましたが職員間での情報共有が十分でないこともあります。個別のニーズに対して、その都度できることを確認していきました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご家族、ケアマネジャー、他事業所等にはご利用者の状態変化時に報告することができました。また感染症等、状態変化時に合わせ早急に対応することができました。
- ・ノーリフティング基礎研修は進みませんでしたが、ご利用者の状態に合わせて福祉用具を使用することができました。
- ・地域行事は地域福祉委員会担当者だけでなく、通所職員が参加することができましたが、認知症カフェに関しては決まった職員の参加になりました。委員会担当者だけでなく、他職員も参加することが課題です。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・新しい居宅訪問チェックシートを使用し、ご利用者の情報収集を細やかに行えました。居宅チェックシートに基づきアセスメントを実施し、身体状態の確認や意向に添ったプログラムを作成しました。ご利用者、ご家族から満足したという声が聞かれましたが、より個別化されたプログラムの作成は、まだまだ不十分です。

## 通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
利用実人員	79	81	84	83	82	80	78	78	76	76	75	73	945
利用延人数	598	616	609	640	582	595	635	607	616	582	537	592	7209
利用率 (月～金曜)	71.8	71.9	73.7	74.8	67.6	73.7	74.1	76.3	72.7	66.4	67.0	73.3	71.9
利用率 (土・日曜)	77.5	75.0	83.5	77.5	75.6	72.8	77.5	70.0	75.6	77.5	75.0	65.0	75.1

## 介護度別利用状況

介護度	令和元年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	7	278	3.9%
要支援2	16	930	12.9%
要介護1	16	1927	26.7%
要介護2	20	2291	31.8%
要介護3	13	1317	18.3%
要介護4	2	229	3.2%
要介護5	4	237	3.3%
合計	78	7209	100%

(3) 居宅介護支援事業

1. 業務管理・改善への取り組み

- ・運営基準に従い、重要事項説明書の文章の修正や新たに必要な確認書類を作成し、ご利用者に対し説明、同意をいただき文章で交付しました。
- ・ご利用者満足度調査においてはアンケート項目の見直しを行いました。集計結果からご利用者からのご意見、評価は真摯に受け止め、次年度のサービス向上につなげていきます。
- ・業務管理をしながら、全員が年6日以上の年休取得ができました。

2. 関係機関との協力体制

- ・医療・介護連携の取り組みとして、入退院時において手段は様々ですが入院先医療機関へ早期に情報提供を行いました。サービスの利用追加や変更時など、必要時は医療関係者との連携を行いました。

3. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・計画通り全員が参加して、個別の専門職研修を実施でき、年2回は他法人の居宅介護支援事業所と共同で事例検討も行いました。

## 居宅介護支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 (内要支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	66 (4)	66 (4)	66 (5)	66 (5)	68 (5)	69 (5)	67 (5)	63 (5)	58 (7)	60 (7)	62 (5)	62 (5)	773 (62)
琴平町	3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	32 (12)
丸亀市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24 (0)
高松市	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10 (0)
東みよし町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12 (0)
計	72 (5)	71 (5)	72 (6)	72 (6)	74 (6)	76 (6)	74 (6)	70 (6)	65 (8)	67 (8)	69 (6)	69 (6)	851 (74)

要介護度別状況 (令和元年度末)

介護度	作成者数
要支援1	2
要支援2	4
要介護1	31
要介護2	28
要介護3	4
要介護4	2
要介護5	4
計	75

## 支給申請の手続き代行及び認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	6
住宅改修支給申請	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
介護保険申請代行	2	2	2	2	4	4	3	3	6	6	1	1	36
介護保険認定調査	5	5	7	5	7	5	5	8	6	6	6	5	70

#### (4) その他の事業

##### 1. 満濃荘老人介護支援センター

###### (1) 老人介護支援センター事業

- ・長尾地区の地域サロンに定期的に参加しました。参加時は、催しを通しての交流の中ではありますが、参加者から施設入所や介護保険サービスについて質問を受けることもあり、施設外で地域住民の方からの相談を受ける機会にもなりました。
- ・施設入所や介護サービスの利用相談を受けることもあり、専門職、町の担当機関へ繋ぎ、対応しました。また、地域で交流機会が少ない方のボランティアの受け入れや就労支援についての相談を受けることもありましたが、実例には繋がっていません。

###### (2) 緊急通報体制事業

- ・緊急通報受信時は、協力員や町と連携し迅速に対応しました。救急要請となる事例も3件ありました。夜間帯で協力員へ連絡が取れない場面もあり、施設より自宅へ伺い対応しました。

###### (3) 家族介護者交流事業

- ・高知方面へ行きました。例年と比べて参加者22名と少なかったのですが、和紙作り体験や「ひろめ市場」での買い物、フルーツの試食等、盛り沢山の内容を楽しむことができました。参加者からは、「充足した時間が持てた」「次回も参加したい」との声が多く聞かれました。また、交流の様子を広報誌やホームページにも掲載しました。

###### (4) おもいやりネットワーク事業

- ・まんのう町、琴平町社会福祉協議会との法人間連携協議会を3回実施しました。その中で、香川県社会福祉協議会からの参加機会もあり、事業の推進状況や新たな活動情報も確認できました。会議を通して地域法人の活動状況を共有し、意見交換できる場となっていますが、活動実績には繋がっていません。

##### 2. 給食サービス事業

- ・栄養面に配慮し、おいしい食事が提供できるよう委託先栄養士と取り組みました。
- ・配食時には安否確認を行うと共に、ご利用者の様子がいつもと違う場合はまんのう町の担当者に報告しました。

##### 3. 生きがい活動支援通所事業

- ・好評である買い物や初詣などの外出を実施しました。施設行事や茶華道等にも参加していただき、デイサービスご利用者とも交流しました。
- ・ご利用者の減少により次年度より3班から2班で実施できるように班の編成を見直しました。

## 緊急通報装置 通報データ集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
緊急	救急車出動	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3
	協力員対応	2	2	1	4	0	0	0	1	0	0	1	4	15
	誤報	2	2	16	1	3	0	5	4	3	3	1	1	41
相談	相談	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	4
	誤報	0	1	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	7
テスト通報		14	3	5	14	2	2	2	0	9	0	5	0	56
電池切れ(停電含)		12	11	17	6	1	5	1	6	2	1	0	1	63
その他		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計		30	19	40	27	11	8	10	12	15	4	8	6	190

## 町別集計

	緊急通報	相談通報	その他	計
まんのう町	58	9	86	153
琴平町	1	2	34	37
合計	59	11	120	190

## 在宅介護者のつどい実績

実施日	行き先	見学施設等	備考	人数
令和元年11月14日	高知方面	・「土佐和紙くろうど」作品作り ・「平成浪漫商店街ひろめ市場」買物 ・「西島園芸団地」フルーツ試食	●同行 :まんのう町1名 :正友会3名	22名

## 給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	8	8	8	9	9	8	8	9	8	8	7	8	98
食数	303	300	308	354	369	312	312	357	295	306	265	289	3770

## 生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
利用延人員	16	17	18	17	21	24	23	23	25	26	24	25	259
1日平均利用者	2.7	2.8	3.0	2.8	3.5	4.0	3.8	3.8	4.2	4.3	4.0	4.2	3.6

## 年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	桜観賞	河川敷で花見見物	16
5	春の外出	ダイソーへの買い物外出	17
6	カレンダー作り	7月～9月のカレンダー作り	18
7	ひまわり観賞	仲南 ひまわり畑へ外出	17
8	夏野菜収穫・調理	施設の畑で採れた野菜を使っての料理	21
9	カレンダー作り	10月～12月のカレンダー作り	24
10	ミニ運動会	輪投げ、玉入れ、ボーリング等の体を動かすゲーム	23
11	買物外出	はなこへ買い物	23
12	カレンダー作り	1月～3月のカレンダー作り	23
1	作品作り	干支(子)の絵馬つくり	26
2	買物外出	ダイソーへの買い物	24
3	作品作り	お雛様	25

### III. 特別養護老人専一ム

仲 南 莊

### (1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

社会の少子高齢化が進む中、仲間として共に働いてくれる方の人数が少なくなっています。ご利用者の生活の質を維持、向上させる取り組みを考えながらも職員の働き方を改革するきっかけとなった一年でした。

ご利用者を人生の先輩として敬う気持ちを持ち、自分達には何ができる、どのようなサービスを提供すれば共に喜ぶことができるかを考え、ご家族や地域の方々の協力を得ながら取り組みました。

#### 介護老人福祉施設

##### 1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- 日々のご利用者の状態について職員間で話し合い、ご利用者に合った福祉用具を活用し、移乗や臥床時の介護技術の研修を行い実践しました。入浴後の移乗介助もご利用者と職員双方の負担にならないよう福祉用具を用いて行なうことが少しずつ浸透しています。
- ご家族の面会時や電話連絡の際に、ご利用者の日常生活の様子を伝えました。年2回の家族懇談会時には担当職員との情報交換を行うことでご家族の想いを共有し、ご要望を反映しました。

##### 2. 健康と機能維持に向けた関わり

- 施設はご利用者の生活の場であるため、医療的な支援は医師より説明を受け、ご家族の希望や意向に沿えるような対応をし、安心した治療や施設生活が送れるよう支援しました。
- ご利用者の状態を確認し、いつもと違えば主治医への報告や症状に合った医療機関を受診し状態悪化を防ぐことができました。
- ご利用者の身体状態に合わせた機能訓練を日々の表情や反応を確認しながら無理のない範囲で行なうことができました。

##### 3. 食生活の充実

- 旬の野菜や果物を食事に取り入れたり、行事食を提供したりと食事を通してご利用者に季節感や楽しみを感じていただけるよう取り組みました。
- 栄養マネジメントにおいては、日々の関わりの中からご利用者の食事状況や身体状況を把握し、カンファレンスの際にも多職種と意見を交わし計画書の作成に取り組みました。
- 厨房内の設備に不備が発生した場合、厨房職員から報告を受け迅速に対応しました。清掃や衛生管理の面も委託業者の衛生チェックシートの確認等を通して管理しました。

##### 4. 適切な相談支援

- ご利用者、ご家族へは提供するサービスの内容を伝え、納得していただきご利用につなげました。ご家族の面会時には挨拶を行い、少しのことでも相談していただける関係づくりに努めました。福祉制度に関する情報収集や情報提供は十分に行なうことができませんでした。

- ・長期入院者の退院支援について、入院先の病院へ、施設での受け入れ体制を早めに伝え、退院調整を行っていただくよう働きかけることに課題がありました。ご利用者、ご家族の不安が軽減できるよう相談をしっかり行うことが必要でした。

## 5. 積極的な地域社会との交流

- ・地元自治会との関わりとして、用水路清掃の手伝いや自治会の総会、敬老会に参加させていただきました。自治会の方々に、ひまわり鑑賞や夏祭りのボランティアとして参加いただくなど、交流を通して地域の方々の声を聞くことができました。日程の確認が不十分であったため秋の神社清掃の手伝いに参加することができませんでした。
- ・ひまわりの家やまんまんカフェではその都度、実施内容を検討し企画しました。今まで参加していなかった職員も参加し、地域の方々とお話をすることを持つことができました。

## 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・人事考課では各自が目標を設定し、それを意識して行動を行っていますが、その達成度の把握や未達成の部分をどうしていくかなどの管理や指導は十分にできておらず課題となっています。
- ・各委員会では委員長を中心として、求められている目標に沿って進められています。各職員が委員会内での役割を持ち、発言や行動を積極的に行うよう進めていくことが課題です。
- ・技能実習生については、文化の違いを実習生と職員がお互いに理解し、働くことができています。実習生の技能面も少しずつ向上しています。

## 7. 令和元年度委員会活動

### ◇研修委員会

- ・年間で研修を企画し、各委員会へ実施依頼を行いました。中には実施日程が調整できず計画通り進まないことがありました。各委員会に全て任せるのでなく、研修委員会が働きかけて調整を行うなど研修の進捗状況を把握し、課題を明確にして取り組むことが課題となりました。

### ◇事故防止検討委員会

- ・事故、ヒヤリハット報告は毎月の棟会で振り返り、対応策の再確認ができました。
- ・転倒、転落事故が多く発生している時期があり、各棟会でご利用者のリスクについて話し合い確認しました。また危険予知の研修を実施し、職員一人ひとりに気づきの大切さを確認してもらうことができました。
- ・災害時の備品について、各部署で今ある備品の確認と必要だと思われる備品について考えました。

### ◇苦情対応委員会

- ・ご意見受付書でいただいたご意見により、対応策が継続できているか定期的に確認し情報共有しました。

- ・苦情対応の基本や苦情解決のポイントなど、法人で統一した資料を用いて苦情研修を実施しました。
- ・ご意見受付けの業務マニュアルの確認を行いました。今年度はマニュアルの変更はありませんでした。

#### ◇広報委員会

- ・計画通り年3回、広報誌の発行ができ、ご利用者や地域の方へ配布ができました。
- ・ホームページの記事について、委員会で担当者を決め、毎月更新することができました。施設内でのボランティア訪問や行事などをタイムリーに紹介し、広く発信することができました。

#### ◇感染予防対策委員会

- ・部署ごとに嘔吐処理の研修と処理セットの見直しを行いました。マニュアル内容の周知や行動の再確認を行うことで職員の意識の向上につなげることができました。
- ・感染症の流行を予防するために、部署ごとにご利用者や職員の体調報告や予防策の周知、世間の感染症情報等、メンバーで共有した情報を全職員に伝えました。

#### ◇ポジショニング褥瘡予防委員会

- ・ノーリフティングケアの基礎技術が浸透し始めていますが、より定着させて応用していくことが課題です。
- ・ご利用者に適した福祉用具の選択を今後も継続します。
- ・褥瘡予防のためのポジショニングを行いましたが、課題としてご利用者個々に適したポジショニングの実施があげられます。褥瘡が発症した際には多職種で情報を共有し、褥瘡が早期回復するよう努めました。

#### ◇安全委員会

- ・特定行為業務従事者による口腔内喀痰吸引が安全にできるよう定期的に研修を実施しました。現在、喀痰吸引対象者がおらず、実務経験が足りていないと考えます。
- ・全職員を対象に、救命処置研修を実施し、心肺蘇生法の技術向上や知識習得ができました。

#### ◇身体拘束廃止委員会

- ・身体拘束廃止宣言や指針を用いての研修を6月に行いました。8月には職員にスピーチロックについてのアンケートを行い、どのような意識を持っているかを確認し、それをもとに10月にスピーチロックの研修を実施しました。後期は職員の勤務状況の調整がつかず委員会が定期的に開催できなかったことが課題です。

#### ◇衛生委員会

- ・職員が健康で働くことができるよう、委員会メンバーが健康に関する情報を準備し、産業医との会議のもとアドバイスをいただき、職員に周知することができました。

- ・今年度採用の職員が腰痛での退職となりました。採用前からの持病とはいえ、それを課題と捉え、介護現場での環境整備や介助時の動作などの見直しが必要です。
- ・職員の健康診断やストレスチェックは予定通り行うことができました。高ストレスの職員は産業医との面接を行いました。

◇給食委員会

- ・献立についての感想やご利用者の反応・声等を伺いながら意見交換を行い、施設・委託業者双方で情報共有を図ることができました。
- ・離水予防に配慮した全粥の提供を開始したり、汁物や雑炊、玉子料理等の野菜の提供量増加を行ったりとご利用者が食べやすく、多くの食材を摂っていただけるよう取り組みました。

◇地域福祉委員会

- ・地域行事へ初めての職員も含めて参加することができました。活動を通し、地域活動へ参加する意味や、仲南荘が担う役割について理解を深めることができました。
- ・地域の方々と信頼関係を構築するために交流を行いました。今後も交流を継続していくとともに地域の声に耳を傾けニーズを受け取ります。

## 施設利用状況

入所		退所				月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	0	0	0	0	0	0	0.7	1500	
5月	5	4	1	0	0	5	1.7	1532	
6月	0	0	0	0	0	0	0.5	1500	
7月	1	1	0	0	0	1	4.8	1545	
8月	2	1	1	0	0	2	6	1545	
9月	1	0	0	0	1	1	4.3	1500	
10月	0	0	0	0	0	0	1.5	1550	
11月	1	1	0	0	1	2	2.3	1500	
12月	2	2	0	0	0	2	3.8	1516	
1月	1	0	0	0	0	0	3.6	1531	
2月	0	0	1	0	0	1	3.1	1434	
3月	2	0	0	1	0	1	3.2	1528	
計	15	9	3	1	2	15		18181	

介護度別	令和元年度末				年間延べ利用者数
	介護度	男	女	計	
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	1	0	1	2.0	172
要介護 3	3	9	12	24.0	5086
要介護 4	6	14	20	40.0	7296
要介護 5	1	16	17	34.0	5627
計	11	39	50	100	18181
		平均	4.1		

市町別	令和元年度末	年間			
		市町名	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	44	13	13		
琴平町	3	1	0		
三豊市	3	1	2		
計	50	15	15		

## 外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	4	7	6	6	4	4	5	5	4	6	0	0
入院	7	1	1	63	84	60	19	30	21	31	29	49

## 年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	2	3	6	0	11	88.3	98	73
女性	0	1	22	16	0	39	88.4	99	72
計	0	3	25	22	0	50	88.4		

## 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	1	0	0	11	12	8	13	5

## 入所平均在所期間

男性	3年10か月
女性	3年2か月
全体	3年5か月

## 診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	6	3	4	3	3	3	4	4	3	3	3	42
整形外科	2	2	4	2	2	1	2	2	4	1	2	2	26
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	6	4	6	4	5	4	3	4	4	4	4	5	53
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	14	15	16	13	13	11	11	13	15	11	12	13	157

## 診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	19	14	15	21	10	3	4	13	20	6	11	6	142
整形外科	6	6	7	9	11	9	10	8	13	10	11	6	106
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0	0	0	6
歯科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
外科	1	2	2	1	2	0	2	1	2	1	3	5	22
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
皮膚科	6	1	1	2	1	0	5	0	2	0	3	5	26
泌尿器科	5	6	6	2	5	4	8	6	6	6	7	7	68
脳神経外科	0	1	1	2	0	1	2	7	8	4	4	1	31
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	37	30	32	38	31	17	34	36	52	27	40	30	404

## リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋肉運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	ピニールたたみ等作業	園芸活動
対象者数	17	0	1	6	0	1	2	5	1	16	1	16	8	0

## 食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
令和元年度末	5	12	11	16	6	50

## 栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
令和元年度末	28	18	0	46

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月23日	技能実習生迎え		山口県	施設長	栗田猛
5月10日	仲多度南部危険物安全協会定時総会	琴平町		統括課長	平田裕二
"	経営青年会監事会	高松市		施設長	栗田猛
5月14日	経営青年会理事会・総会	"		施設長	栗田猛
5月15日	レクリエーショナル・アクティビティ研修	"		通所生活相談員	山崎浩二
"	琴平安全運転管理者協会通常総会	まんのう町		施設長	栗田猛
5月16日	香川おもいやりネットワーク事業担当者連絡会	高松市		施設長	栗田猛
5月23日、30日	介護支援専門員研修課程Ⅱ(更新に係る研修)	"		主任介護職員	多田眞弓
5月24日	香川県社会福祉法人経営者協議会 総会	"		施設長	栗田猛
5月28日	介護施設における医療行為を安全に実施するための施設長研修	"		施設長	栗田猛
5月29日	はじめての嚥下調整食調理実習会	"		管理栄養士	篠原絵美
6月1日、5日、15日	介護支援専門員研修課程Ⅱ(更新に係る研修)	"		主任介護職員	多田眞弓
6月7日	不在者投票事務説明会	"		生活相談員	小松智紀
6月25日	福祉のサポートフェア	"		介護職員	木村優花
7月9日	香川県立琴平高校講師	琴平町		統括課長	平田裕二
7月10日、11日、17日、19日	香川県喀痰吸引等研修	高松市		介護職員	橘大輝
7月23日、25日、26日	"	"		"	"
7月24日	福祉の職場説明会 福祉の就職総合フェア	"		生活相談員	小松智紀
"	"	"		介護職員	三谷有加莉
"	"	"		介護職員	木村優花
7月25日	対人援助技術専門研修会	"		介護職員	山下由里
7月30日	仲多度南部在宅医療介護連携推進会議	まんのう町		統括課長	平田裕二
8月1日	介護技術特別研修会	高松市		介護職員	木村優花
8月2日	香川県喀痰吸引等研修事業	"		介護職員	橘大輝
8月5日、9日、20日	香川県喀痰吸引等研修事業における指導者打合せ会	"		看護課長	松下葉子
8月9日	リスクマネジメント研修会	"		介護職員	氏家洸暉
8月15日～20日	社会福祉主事資格認定通信課程		神奈川県	通所介護職員	長谷川彩
8月16日	経営戦略セミナー	高松市		施設長	栗田猛
8月30日	四国経営品質協議会定例会	"		通所課長	真鍋貴司
9月6日	福祉サービス苦情対応研修会	"		施設長	栗田猛
"	"	"		主任介護職員	真鍋博輝
9月12日、13日	全国社会福祉経営大会		鳥取県	統括課長	平田裕二
9月13日、14日	おむつフィッター3級	高松市		介護職員	三谷有加莉
9月18日	地域栄養改善活動従事者研修会	"		管理栄養士	中須加倫子
9月19日	安全運転管理者講習	まんのう町		施設長	栗田猛
9月21日	協栄地区JAふれあい祭り	丸亀市		介護職員	三谷有加莉
9月24日	四国経営品質協議会定例会	高松市		統括課長	平田裕二
"	認定調査員現任研修会	"		管理栄養士	中須加倫子

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
9月25日	香川県認知症介護基礎研修	丸亀市		通所介護職員	近井佳代子
10月1日	就職説明会in香川短期大学	宇多津町		介護職員	三谷有加莉
10月18日、19日	オールジャパンケアコンテスト		東京都	介護職員	氏家洸暉
"	"		"	施設長	栗田猛
10月21日～25日	香川県認知症介護実践研修(実践者研修)	丸亀市		介護職員	松浦幸平
10月25日	技能実習生受入れ		岡山県	施設長	栗田猛
10月29日	技能実習責任者講習	高松市		統括課長	平田裕二
11月3日～8日	技能実習生面接		インドネシア	施設長	栗田猛
11月5日	香川県老人福祉施設協議会研究大会	高松市		通所生活相談員	山崎浩二
"	"	"		管理栄養士	中須加倫子
11月21日、22日	社会福祉法人経営者セミナー	"		施設長	栗田猛
11月22日	介護職種の技能実習指導員講習	"		主任補佐介護職員	三角理絵
11月25日、26日	香川県災害派遣福祉チーム登録研修	"		施設長	栗田猛
11月25日	香川県認知症介護実践研修(実践者研修)	丸亀市		介護職員	松浦幸平
11月26日	四国経営品質協議会定例会	高松市		生活相談員	小松智紀
12月2日	社会福祉法人会計実務者研修会	"		統括課長	平田裕二
12月12日	介護技能向上集合研修(専門級)	"		介護職員	ペピサピトリ
12月14日	まんのう町社会福祉大会	まんのう町		施設長	栗田猛
"	"	"		通所生活相談員	稻毛忠
12月18日、22日、26日	介護支援専門員実務研修	高松市		管理栄養士	篠原絵美
1月9日	介護技能向上集合研修(専門級)	坂出市		介護職員	ペピサピトリ
1月11日、12日、18日、19日25日	介護支援専門員実務研修	高松市		管理栄養士	篠原絵美
1月16日、23日	介護技能向上集合研修(初級)	坂出市		介護職員	ウインダウイナルティ
1月17日	四国経営品質協議会定例会	高松市		施設長	栗田猛
1月21日	災害福祉ネットワーク構築・運営リーダー養成研修		岡山県	施設長	栗田猛
1月22日	ノーリフティングケア推進に係る職員育成研修	まんのう町		主任補佐介護職員	三角理絵
"	"	"		通所看護職員	藤川弘
2月5日	災害福祉ネットワーク構築・運営リーダー養成研修の情報共有会議	高松市		施設長	栗田猛
2月13日	介護技能向上集合研修(専門級)	坂出市		介護職員	ペピサピトリ
2月21日	排泄ケア研修会	高松市		看護職員	香川貴子
2月22日、29日	介護支援専門員実務研修	"		管理栄養士	篠原絵美
2月27日	介護技能向上集合研修(初級)	坂出市		介護職員	ウインダウイナルティ
3月9日	経営青年会理事会	高松市		施設長	栗田猛

## 施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月～8月	ノーリフティング研修	15	ポジショニング委員会
5月～6月	とろみ調整剤研修	50	管理栄養士
5月～6月	事故防止研修	49	事故防止委員会
6月～7月	身体拘束廃止に関する研修	47	施設長
6月～7月	嘔吐物処理研修	34	感染予防対策委員会
6月下旬	喀痰吸引研修	7	喀痰吸引等の安全委員会
8月～9月	苦情対応研修	38	苦情対策委員会
8月～9月	おむつフィッター研修	40	介護主任
9月下旬	褥瘡予防研修	29	ポジショニング委員会
10/1・10/4	AED、心肺蘇生研修	33	仲多度南部消防署
10月～11月	手洗い研修	23	感染予防対策委員会
10月～11月	スピーチロック研修	41	身体拘束廃止委員会
11月5日	シェイクアウト	30	香川県地震防災行動訓練
12月11日	日中想定の防災訓練	20	四国アラーム
1月	個人情報研修	45	研修委員会
1月下旬	喀痰吸引研修	7	喀痰吸引等の安全委員会
2月下旬	嚥下調整食研修	25	管理栄養士
2月～3月	事故防止研修	46	事故防止委員会
3月17日	夜間想定の防災訓練	15	四国アラーム

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
日総研 社会福祉士実習	6月17日～7月23日	1	24
美作大学 社会福祉士実習	8月13日～9月17日	1	25
四国学院大学 社会福祉士実習	8月19日～9月21日	1	23
日総研 社会福祉士実習	10月7日～R2年2月19日	1	23

## 事故報告統計データ(年間件数)

## 【1】事故報告

## ①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	199
在宅(通所・居支・その他)	64
計	263

## ②発生場所別

場所	件数
居室	71
廊下	7
浴室	12
脱衣室	18
ホール	78
トイレ	8
食堂	1
玄関	3
施設外	9
その他	56
計	263

## ③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	33
転落	53
誤飲・誤嚥	0
異食	3
服薬管理	4
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	1
器物損壊	11
皮下出血	33
紛失	2
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	1
送迎・移送中の事故	2
職員の介助中の事故	5
私物返し忘れ	49
表皮剥離	21
その他	45
計	263

## ④発生時間帯別

時間帯		件数
朝	8時～10時	37
	10時～12時	44
昼	12時～14時	25
	14時～16時	35
夕	16時～18時	44
	18時～20時	20
夜間	20時～22時	7
	22時～24時	9
	0時～2時	4
	2時～4時	6
早朝	4時～6時	10
	6時～8時	22
計		263

## ⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	4
打撲	15
皮下出血	39
すり傷	2
裂傷	5
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	22
精神不安定	0
外傷等なし	72
利用者の物品管理	69
送迎関係	2
服薬・異常なし	3
その他	30
計	263

## 【2】ヒヤリハット報告

## ①発生月別

月別	件数
4月	21
5月	21
6月	37
7月	50
8月	44
9月	48
10月	36
11月	19
12月	28
1月	36
2月	25
3月	32
計	397

## ⑥発生月別

月別	件数
4月	23
5月	23
6月	25
7月	21
8月	21
9月	22
10月	20
11月	18
12月	22
1月	26
2月	21
3月	21
計	263

## ⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	3
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	3

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	1	0	2		0	3
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	1		0	1
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0		0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0		0	0
⑤その他	0	0	2		0	2
合 計	1	0	5		0	6

## 身体拘束の状況

令和元年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

## 年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
5	12	入所ご利用者の家族会	0	0	15	0
5	21	デイ グラウンドゴルフ大会	0	24	0	0
5	24	春の野外食	43	22	0	0
6	15	デイの家族会	0	0	15	0
6	27	あじさい観賞	3	0	0	1
7	7	ひまわり観賞	24	0	10	19
7	8	七夕まつり	0	28	0	0
7	27	夏まつり	45	0	20	33
7	30	浴衣茶会	37	23	0	12
8	9	デイ ひまわり会	0	25	0	0
9	16	デイ 敬老会	0	26	0	0
9	20	敬老の日 大正琴の演奏	20	26	0	4
10	9	月見茶会	36	24	0	11
10	15	デイサービス運動会	0	20	0	0
10	30	秋の野外食	43	24	0	0
11	15・17	入所ご利用者の家族懇談会	22	0	30	0
12	25	クリスマス会	50	27	0	4
12	26	餅つき	14	23	0	5
1	6	初釜茶会	35	28	0	12
1	9	デイ 初笑い会	0	28	0	0
2	3	節分 豆まき	35	27	0	0
3	1	デイ ひなまつり	0	14	0	0

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手打ちうどん	第3月曜日	40	むぎっこ会	昼食の提供
	園外外出	第3金曜日	3	〃	外出の付き添い
	手作りおやつ	毎月1回	35	安西朱実様	おやつ作り
	花生けクラブ	毎週木曜日	20	〃	花生け
	音楽療法	第1・3土曜日	10	大浦美樹様他	音楽療法
	散髪外出	毎週水曜日	2	近隣の理容店	散髪
	誕生会	誕生日	1	対象者ご家族	誕生日のお祝い
通所	癒しタッチ	第1水曜日	20	仲善シルバーセンター	会話をしながらマッサージ
	傾聴ボランティア	第3火曜日	15	末澤様	脳トレの手伝いと傾聴
	手打ちうどん交流	6・9・12・3月	2	むぎっこ会	うどん打ちに参加し交流
	生け花	毎週木曜日	10	安西朱実様	生け花
	誕生日お祝い	対象者の利用日	1	対象ご利用者	誕生日のお祝い

## 地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
4	28	帆山地区老人会総会	1	0	帆山地区老人会	20
4	28	大正琴の集い	1	11	大正琴の集い来場者	
6	2	笑みの集い(仲南文化ホール)	1	11	笑みの集い来場者	
6	2	帆山地区用水路清掃	3	0	帆山地区水利組合	50
6	29	コーラス訪問	12	15	仲南フロイデ	10
7	22, 23	琴平高校校外実習	3	0	琴平高校3年生健康福祉コース	11
9	16	帆山地区敬老会	1	0	帆山地区老人会	20
10	11	琴南稚気民生委員児童委員訪問	3	0	琴南地区民生委員児童委員	17
10	16	施設見学と福祉の質問	3	0	仲南小学校3年生	26
11	22	歌の訪問	10	22	中家美廣様	1
11	26	書道パフォーマンス	9	25	小山恵津子様	2
12	4	音楽ライブ	13	27	松尾貴臣様	1
12	10	歌・遊戯の訪問	6	25	仲南こども園	20
12	23	カラオケ・手品の訪問	8	27	なかよし会	4
12	24	顔と手のマッサージ	3	27	(株)彩さ美	7
1	25	コーラス訪問	10	14	仲南フロイデ	10
2	14	ご利用者との交流	10	26	仲南小学校3年生	26
3	8	仲南地区防災訓練	2	0	帆山消防団等	20

## カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
4	26	ひまわりの家	ペン立て作り、技能実習生の紹介	6	0
6	28	"	季節のお菓子作り、緑茶のお話、健康体操	3	0
8	30	"	看取りについて	10	1
10	25	"	新聞紙を使ったバッグ作り、健康体操	9	0
12	27	"	蒸しパン作り、一年を振り返っての感想	10	0

### 短期入所生活介護

- ご利用者、ご家族、ケアマネジャーからサービス利用時のご意向やご本人の情報を伺い、施設内の各部署と情報共有し、スムーズに利用につなげることができました。新規ご利用者も積極的に受け入れを行いました。
- ご利用者の体調変化や気になったことはご家族やケアマネジャーへ報告し、他のサービスのご利用や在宅生活が続けられるよう情報を共有しました。
- 前年度に比べ、利用率が低くなりました、短期入所を必要としている方にご利用していただけるような日程の調整が課題と考えます。

### 延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	507	490	452	548	554	470	466	475	464	470	480	509	5885
要支援(介護予防)	6	13	12	6	22	13	13	13	41	4	4	9	156
合計	513	503	464	554	576	483	479	488	505	474	484	518	6041
利用率	85.5	81.1	77.3	89.4	92.9	80.5	77.3	80.3	81.5	76.5	83.4	83.5	82.4

### 介護度別利用状況

介護度	令和元年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	5	156	2.6%
要介護1	20	646	10.7%
要介護2	27	2087	34.5%
要介護3	22	1658	27.4%
要介護4	5	726	12.0%
要介護5	6	768	12.7%
合計	85	6041	100%

(2) 通所介護事業

仲南荘老人デイサービスセンター

ご利用者との何気ない会話や関わりの中からその方の変化や悩みに気づき、チーム内で情報共有しました。ご利用者にとって落ち着いて過ごしていただけるような居場所を提供できるよう取り組みました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・日頃から職員間の報連相を大切に、課題や気づきをミーティングや通所会で話し合いましたが、職員の理解や周知が徹底できておらず同じ失敗を繰り返すことが多くありました。
- ・ポジショニングの知識と技術を学び、基本的な理解はできましたが、習得した技術をその都度、実践することやサービスにつなげるまでには至りませんでした。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・運動機能の維持向上を目的としたリハビリ体操は定着し、ご利用者の意欲を引き出すことができました。
- ・食事前の口腔体操と正しい食事姿勢の声かけを行い、食事を召し上がるっていました。

## 通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
利用実人員	71	81	69	70	72	73	72	80	79	81	79	77	904
利用延人数	640	639	616	666	613	643	661	662	674	660	628	664	7766
利用率 (月～金曜)	82.7	78.7	82.2	82.2	77.1	84.3	80.1	85.9	87.6	80.0	83.7	82.3	82.2
利用率 (土・日曜)	78.3	78.3	82.0	82.5	77.0	83.0	81.7	89.6	71.1	90.0	86.7	89.6	82.5

## 介護度別利用状況

介護度	令和元年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	6	199	2.6%
要支援2	8	826	10.6%
要介護1	30	2594	33.4%
要介護2	22	2338	30.1%
要介護3	15	1357	17.5%
要介護4	5	405	5.2%
要介護5	1	47	0.6%
合計	87	7766	100%

#### (4) その他の事業

##### 1. 仲南荘老人介護支援センター

###### (1) 老人介護支援センター事業

- ・介護認定の方法や介護保険サービス利用等について相談を受けました。ケアマネジャーへ報告し、介護保険サービス利用につながったケースがありました。
- ・地域の方々と行事等で関わるときには相談しやすい関係をつくるように努めました。相談に対して対応できる知識、情報を収集しました。

###### (2) おもいやりネットワーク事業

- ・おもいやりネットワークとしての事業活動は行えていません。近隣の町社会福祉協議会との地域連携会議等へ出席し地域の課題を他事業所等と共有しました。
- ・他事業所等とのネットワーク構築や地域の方々に向けての、おもいやりネットワーク事業の事業内容の周知が不十分でした。

##### 2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者が介護を受ける必要がなく、いつまでも自立した生活を送ることができるよう暮らしに役立つ様々な情報を定期的にお伝えしました。
- ・年間行事予定表を配付し、次回の利用を楽しみにしていただきました。特に調理は人気でご利用者が積極的に参加されました。
- ・ご利用者の中で介護や見守りが必要と感じる方がおられた時や、毎月の利用状況を行政へ報告しました。その結果、通所事業に引き継がれたケースがありました。

## 生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
利用延人員	30	31	27	23	25	28	27	26	26	23	23	18	307
1日平均利用者	7.5	7.8	6.8	5.8	6.3	7.0	6.8	6.5	6.5	5.8	5.8	4.5	6.4

琴平町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
利用延人員	11	9	10	8	8	10	9	12	10	9	9	10	115
1日平均利用者	5.5	4.5	5.0	4.0	4.0	5.0	4.5	6.0	5.0	4.5	4.5	5.0	4.8

## 年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	おやつ作り	柏餅作り	18
5	買い物外出	スーパー「ハナコ」でお買い物	22
6	栄養教室	食中毒予防についての話をする	19
7	買い物外出	スーパー「今川商店」でお買い物	14
8	健康教室	排泄用品の使い方のお話	18
9	おやつ作り	甘納豆入りカステラボール作り	19
10	運動会	チームに分かれて競技をする	19
11	交通安全教室	屋外を歩くときに注意することの話	18
12	創作活動	お正月飾り作り	18
1	感染予防教室	寒い季節の注意点についてのお話	18
2	買い物外出	スーパー「今川商店」でお買い物	16
3	おやつ作り	おはぎ作り	17

## IV. 特別養護老人ホーム

やすらぎ 荘

## (1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

職員一人ひとりがご利用者・ご家族の立場で考えながら関わることができました。

地域へ出向き全職員が活動へ参加しながら繋がりや信頼関係を築いていくことができました。ノーリフティングケアでは、福祉用具を活用することで安楽な姿勢保持や職員の腰痛予防に繋げていきました。

### 介護老人福祉施設

#### 1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・多職種で情報の共有を行い統一したケアに取り組みました。またご家族へはご利用者の体調変化があった時には電話で連絡しました。面会では、状態や近況を報告し安心していただけるように努めました。
- ・ノーリフティングケアの習慣化に取り組みました。スタンディングリフトとフレックスボードを新しく導入した事で、トイレ介助時と移乗介助時のご利用者を抱えあげない、安全で安心な介助を、職員には腰痛予防に繋げました。マルチグローブの常時使用を常に意識する事を心がけ、ご利用者の筋緊張防止をしました。ご利用者一人ずつのポジショニングを検討し、時間をかけながら全ての職員が統一した対応が出来るようにしました。

#### 2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・バイタルサインの測定、年2回の検尿、血液検査と多職種との連携による情報収集を行い、主治医との連携のもと異常の早期発見・早期対応が行えました。
- ・インフルエンザ予防接種、結核検診を実施し、ご利用者の施設内感染予防に努めました。
- ・個別機能訓練計画書を作成し、個々の状態に合わせたリハビリメニューを実施し、機能の維持に努めました。3か月ごとにモニタリングを行い、ご家族に報告し同意をいただきました。
- ・終末期のご利用者への対応は、ご家族、主治医、関係職種で話しあい、終末期を安心して過ごせるよう支援しました。

#### 3. 食生活の充実

- ・利用者の栄養マネジメントを実施し、体重減少や食欲低下がみられるご利用者について多職種と相談しながら、個人に合わせた食事提供を行いました。
- ・食事内容の検討を委託業者と定期的に行い、季節の食材の使用や行事食を通して季節を感じられるような献立を作成しました。
- ・厨房内の衛生管理を委託業者と協力して行い、安全な食事提供が行えるようにしました。

#### 4. 適切な相談支援

- ・日々の様子などの細かなことについてもご家族に伝えるようにしました。
- ・新規入所時には、施設に訪問いただき、施設が提供できるサービスについて各担当者から説明を行い、ご家族の希望と相違がないように入所していただけました。

## 5. 積極的な地域社会との交流

- ・お茶のまん会を年4回実施することができました。参加者の方々は、毎回楽しみにされており参加人数も増えました。多くの職員が関わりながら地域との繋がりを感じることができました。開催回数や場所、送迎は課題として残りました。
- ・そば打ちやおはぎ訪問、七草粥などのボランティアを受け入れ、地域の方々と利用者の交流の場を作りました。
- ・地域清掃活動を年2回実施しました。青色防犯パトロールも週1回実施することができました。
- ・民生委員連絡会へ参加し、地域の抱える課題や情報を共有することができました。

## 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・施設内外への研修に参加し知識と技術の向上を図りました。
- ・職員会では「知愛一如」手帳を使用し、組織が大切にしていることを共有することができました。職員は自分の考えを言葉にし、他の職員の考えを聞くことで違いを知り、共感することができました。
- ・2月から始まった改修工事も8月に完了しました。職員やご利用者が使いやすく快適な生活空間となりました。
- ・職員間で小さなことでも報告、連絡、相談を行いました。課題が出れば、対話をしながら進めていきました。

## 7. 令和元年度委員会活動

### ◇研修委員会

- ・各部署や各委員会と連携し、計画通りに研修を実施できました。
- ・アンケートを集計し、研修報告書にまとめました。

### ◇リスクマネジメント委員会（事故・防災・防犯）

- ・施設内で起きた事故について職員間で周知し、毎月見直しを行い再発防止に取り組みました。
- ・職員が実施出来るコスト削減で、電気や水の節約を行うことができました。

### ◇サービス向上委員会（業務改善・C S）

- ・ご利用者アンケートでいただいたご意見より、対応策を検討し改善することができました。
- ・委員会メンバーを対象に、サービス評価基準書を基に1つの項目について勉強会を行いました。
- ・地域の方からの意見については、収集することができませんでした。

### ◇広報委員会

- ・前期は月1回窓の更新ができましたが、後期はできなかつた月がありました。
- ・「やすらぎの里」は計画通り9月と3月に発行できました。秋冬号には掲載記事の収集が

上手くできず記事に偏りが出てしました。

◇身体拘束廃止委員会（高齢者虐待）

- ・年2回の研修を実施し、身体拘束・虐待防止について学ぶことができました。
- ・身体拘束ゼロを継続することができました。

◇感染防止対策委員会

- ・出退勤時の手洗い、うがい、健康チェックを行いました。また、面会の方にも声かけをし実施しました。
- ・6月に食中毒、12月にMRSA・ESBL産生菌の感染対策、正しいマスクのつけ方の研修を行ない、感染症予防のための知識向上に繋げました。

◇ポジショニング委員会（褥瘡予防・拘縮予防・ノーリフト）

- ・看護、介護、栄養士で情報を共有しご利用者の体調、栄養状態、皮膚の状態の変化に迅速に対応することができました。
- ・ノーリフティングの習慣化を常に意識し、福祉用具を使用して介助を行い、ご利用者には安全で安心を、職員には腰痛予防に繋げることができました。

◇地域福祉推進委員会

- ・お茶のまん会や地域清掃活動の企画を検討し、地域とのつながりをより深める活動内容となりました。
- ・お茶のまん会には、新規でより多くの職員が参加できるように調整を行い、地域活動に参加することで、地域の方との交流を深めることができました。

◇労働安全衛生委員会

- ・年2回危険箇所の点検を行い、安全を確認しました。
- ・腰痛予防研修を実施し、腰痛の発生要因や腰痛につながる動作を確認しました。  
腰痛アンケートの結果を踏まえた検討が十分に行えませんでした。
- ・有給休暇の取得を計画的に進んでいるか進捗状況を確認しました。
- ・交通安全講習会を外部講師に来ていただき年2回実施し、安全運転の啓発を行いました。

◇安全委員会

- ・緊急時に適切な対応が出来るよう、全職員を対象に主治医の指導のもと救命蘇生研修を行いました。
- ・喀痰吸引に関しては、対象利用者がおらず、手技確認研修が行えませんでした。

◇給食委員会

- ・提供された食事内容や給食業務に関わる問題点について検討し、委託業者の協力のもと、修正できるところはすぐに対応し、より良い食事提供ができるようにしました。

- ・主食の粥にとろみ調整剤を添加することで、むせにくい主食の提供に取り組みました。嚥下機能が低下したご利用者にも、おいしく安全に食事が摂れるよう工夫を検討しました。

特別養護老人ホームやすらぎ荘

施設利用状況

入所	計	退所				月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	1	1	0	0	0	1	2	881	
5月	3	1	1	0	0	2	4.5	907	
6月	1	0	1	0	0	1	4.1	888	
7月	1	0	0	0	1	1	6.2	928	
8月	0	0	0	0	0	0	7.5	930	
9月	0	0	0	0	0	0	0.2	900	
10月	1	2	0	0	0	2	2.3	915	
11月	1	0	0	0	0	0	4	894	
12月	0	0	0	0	0	0	6.3	930	
1月	1	0	1	0	0	1	3.3	929	
2月	0	0	0	0	0	0	0	870	
3月	0	0	0	0	0	0	0	930	
計	9	4	3	0	1	8		10902	

介護度別	令和元年度末				年間 延べ利用者数
	介護度	男	女	計	
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	0	0	0	0.0	30
要介護 3	1	9	10	33.3	3616
要介護 4	2	7	9	30.0	3464
要介護 5	1	10	11	36.7	3792
計	4	26	30	100	10902
		平均	4.0		

市町別	令和元年度	年間	
		市町名	利用者数
まんのう町	29	9	7
三豊市	1	0	0
丸亀市	0	0	1
計	30	9	8

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	1	3	4	1	2	2	2	2	0	0
入院	0	21	26	57	70	2	12	30	59	31	0	0

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	1	1	2	0	4	87.5	97	77
女性	1	0	8	14	3	26	91.6	104	67
計	1	1	9	16	3	30	91		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	1	2	8	9	3	7	0

入所平均在所期間

男性	3年7か月
女性	2年9か月
全体	3年0か月

## 診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	9	5	5	4	4	4	6	4	5	6	5	6	63
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	6	5	4	7	4	4	6	4	4	8	4	4	60
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	10	9	11	8	8	12	8	9	14	9	10	123

## 診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	8	4	2	2	2	2	1	2	2	0	5	34
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
泌尿器科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	9	5	7	3	3	2	1	3	2	0	5	44

## リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	肋木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしごり巻き等作業	園芸活動
対象者数	0	0	0	0	0	3	3	5	5	0	0	0	6	0

## 食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
令和元年度末	6	8	8	7	1	30

## 栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
令和元年度末	29	1	0	30

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
5月9日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		施設長	盛優子
"	"	"		介護課長	村上由佳
5月10日	仲多度南部危険物安全協会定例会	琴平町		所長	田中博之
5月15日	レクリエーション・アクティビティー研修会	高松市		介護職員	葛城諭
5月21日	まんのう町琴南地区戦没者追悼式	まんのう町		施設長	盛優子
5月29日	オガワザセミナー	高松市		管理栄養士	上岡由希子
6月6, 8日	施設等新任職員研修会	"		介護職員	武田翔詠
6月12日	香川県危険物安全大会	"		所長	田中博之
6月24日～28日	認知症介護実践研修会	丸亀市		介護主任	三野宗一郎
7月25日	認知症カフェボランティア交流会	まんのう町		管理栄養士	上岡由希子
7月25日	対人援助技術専門研修会	高松市		介護職員	久保味沙
8月1日	香川県人権・同和問題講演会	"		統括課長	近藤晃敬
9月6日	福祉サービス苦情対応研修会	"		介護主任	葛原信子
9月13、14日	おむつフィッター3級	"		介護職員	平田かをる
9月18日	地域栄養改善活動従事者研修会	"		管理栄養士	上岡由希子
9月24日	認定調査員現任研修会	"		統括課長	近藤晃敬
9月25日	認知症介護基礎研修会	丸亀市		介護職員	久保味沙
10月3日	琴南老人ふれあいスポーツ大会	まんのう町		施設長	盛優子
10月4日	地域栄養改善活動従事者研修会	丸亀市		管理栄養士	上岡由希子
11月5日	香川県老人福祉協議会研究大会	高松市		介護職員	葛城諭
11月21、22日	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	"		施設長	盛優子
12月1日	琴南地区防災研修会	まんのう町		施設長	盛優子
12月1日	"	"		介護職員	松本美智子
12月2日	社会福祉法人会計実務者研修会	高松市		統括課長	近藤晃敬
12月3日	部落解放香川県講演会	"		統括課長	近藤晃敬
12月6日	中讃保健福祉圏域における災害時の福祉支援体制の構築に関する情報共有圏域会議			統括課長	近藤晃敬
1月16日	まんのう健康・福祉祭り実行委員会	まんのう町		管理栄養士	上岡由希子
1月24、25日	おむつフィッター2級		京都府	介護職員	久保味沙
1月22日	ノーリフティングケア推進に係る職員育成研修	まんのう町		介護課長	村上由佳
"	"	"		介護職員	松本美智子
"	"	"		介護職員	岩田加津代

## 施設内研修等 (防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
6月11日	認知症研修	9	研修委員会
6月15日	リスクマネジメント研修	11	リスクマネジメント委員会
7月10日	食中毒研修	9	管理栄養士
8月23日	褥瘡・拘束予防研修	9	ポジショニング褥瘡委員会
9月26日	苦情対応研修	9	サービス向上委員会
10月15日	身体拘束廃止研修	23	身体拘束廃止委員会
11月12日	防災訓練	15	仲多度南部消防署
12月12日	MRSA・ESBL対応研修	12	感染防止対策委員会
1月7・14日	身体拘束廃止研修	23	身体拘束廃止委員会
3月5日	心肺蘇生・AED研修	10	美合診療:山本医師
2月25日	個人情報・プライバシー研修	13	研修委員会
3月4日	防災訓練	10	仲多度南部消防署

## 実習等受け入れ状況

※令和元年度の実習生の受け入れはありませんでした。

## 事故報告統計データ(年間件数)

## 【1】事故報告

## ①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	77
2	在宅(通所・居支・その他)	23
	計	100

## ②発生場所別

	場所	件数
1	居室	28
2	廊下	2
3	浴室	10
4	脱衣室	5
5	ホール	22
6	トイレ	12
7	食堂	6
8	玄関	4
9	園外	2
10	その他	9
	計	100

## ③事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	23
2	転落	12
3	誤飲・誤嚥	0
4	異食	0
5	誤薬	6
6	自傷行為	0
7	徘徊	1
8	入所者間トラブル	0
9	器物損壊	0
10	皮下出血	24
11	紛失	0
12	金銭管理の事故	0
13	経管自己抜去	0
14	送迎・移送中の事故	1
15	職員の介助中の事故	9
16	私物返し忘れ	4
17	表皮剥離	9
18	その他	11
	計	100

## ④発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	18
	10時～12時	19
昼	12時～14時	18
	14時～16時	10
夕	16時～18時	5
	18時～20時	7
夜間	20時～22時	5
	22時～24時	4
	0時～2時	2
	2時～4時	3
早朝	4時～6時	4
	6時～8時	5
	計	100

## ⑤障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	0
2	打撲	3
3	皮下出血	26
4	すり傷	2
5	裂傷	3
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	9
9	精神不安定	0
10	外傷等なし	19
11	利用者の物品管理	4
12	送迎関係	2
13	その他	32
	計	100

## 【2】ヒヤリハット報告

## ①発生月別

	月別	件数
1	4月	14
2	5月	21
3	6月	11
4	7月	7
5	8月	22
6	9月	17
7	10月	4
8	11月	5
9	12月	6
10	1月	12
11	2月	6
12	3月	4
	計	129

## ⑥発生月別

	月別	件数
1	4月	13
2	5月	9
3	6月	8
4	7月	14
5	8月	10
6	9月	6
7	10月	8
8	11月	4
9	12月	10
10	1月	6
11	2月	6
12	3月	6
	計	100

## ⑦保険者への報告

	内 容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	1
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	1

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	0	0	0	0	0	0
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

## 身体拘束の状況

令和元年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

## 年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	5・8・9	花見散歩	0	32	0	0
4	3	花見	35	0	8	0
5	31	春の野外食	35	21	0	0
7	8	お楽しみ七夕会	0	20	0	0
7	17	交通安全教室	0	17	0	0
10	18	秋の野外食	32	20	6	0
12	4	交通安全教室	0	17	0	0
12	6	運動会	0	17	0	0
12	20	クリスマス会	33	17	0	0
12	27	餅つき	0	16	0	0
1	23	旧暦餅つき	0	13	0	0
1	24	初笑い会	0	18	0	0
2	3	節分	33	17	0	0
3	4	ひな祭り	33	0	0	0

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	散髪ボランティア	第1金曜日	3	まんのう社協	理美容室に出かける
	散髪ボランティア	第2木曜日	3	まんのう社協	理美容室に出かける
	うきうき外出	第3水曜日	3	まんのう社協	
	音楽療法	第2・4水曜日	25	豊嶋様他	
	法話	第3木曜日	25	高尾様	妙覚寺住職
通所	誕生日祝い	誕生日の初回利用日	5		ハンドタオルをプレゼント
	カラオケ	週2回	10		本人のリクエストに沿って実施
	作品つくり	随時	5	堀田様	琴南文化祭に出展
	運動レク	随時	20	堀田様	身体を動かしたリハビリ
	脳トレーニング	随時	20	堀田様	漢字・計算・間違い探し等
	畑作業と調理	随時	3		収穫野菜を調理して昼食に一品
	読み聞かせボランティア	毎月1回	20	大谷様	朗読

## 地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
4	3	げんき会訪問	0	20	げんき会	8
5	17	地域清掃	7	7		0
5	26	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	3
7	28	檀那会草刈りボランティア	0	0	檀那会	25
8	1	いろは保育園	25	20	いろは保育園	20
9	10	まんのう社協仲南支部訪問	0	0	まんのう社協仲南支部	15
9	13	地域清掃	7	7		0
9	25	そば打ち	30	0	そばっこ会	10
9	29	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	3
10	28	琴南小訪問	25	20	琴南小学校	15
11	3	琴南地区文化祭出展	10	20		0
11	6	すみれ会訪問	25	20	すみれ会	10
11	8	まんのう社協長炭支部訪問	0	0	まんのう社協長炭支部	30
11	24	檀那会草刈りボランティア	0	0	檀那会	25
12	18	手作りおはぎ訪問	30	0	老人クラブ琴南支部	10
12	22	車椅子清掃	0	0	親子ボランティアの会	3
1	5	七草粥訪問	30	0	親子ボランティアの会	10
2	20	そば打ち	25	0	そばっこ会	10

## カフェ・お茶会

月	日	種類	内 容	参加 人数	ボラン ティア 数
5	25	お茶のまん会	折り紙の小物作り	12	0
6	22	お茶のまん会	よもぎ団子・梅ジュース作り	17	0
10	26	お茶のまん会	ミニ運動会	13	0
11	30	お茶のまん会	クリスマスリース作り	21	0

**短期入所生活介護**

- ・ご希望に沿った利用につながるように、ケアマネジャーと連携を行いながら、受け入れを行いました。ご利用中の生活状況をお伝えし、情報の共有を図りました。

**延べ短期入所利用者数**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	133	112	124	114	103	131	156	146	153	130	93	88	1483
要支援(介護予防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	133	112	124	114	103	131	156	146	153	130	93	88	1483
利用率	93.9	75.2	86.1	75.2	67.2	85.0	97.3	93.3	89.9	81.1	63.2	56.9	80.4

**介護度別利用状況**

介護度	令和元年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	2	248	16.7%
要介護2	6	571	38.5%
要介護3	4	425	28.7%
要介護4	0	10	0.7%
要介護5	1	229	15.4%
合計	13	1483	100%

(2) 通所介護事業

**やすらぎ荘老人デイサービスセンター**

今年は暖冬で積雪や道路の凍結もなく送迎に支障をきたすことなく行えました。経験年数の浅い職員が多かったため、カバーしながらご利用者に迷惑をかけないようにしました。また、ご利用者の意向に沿ったサービス提供が行えるよう心掛け支援しました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・独居の方が多く、朝のバイタル測定と体調確認を行い、状態変化時にはご家族、ケアマネジャーに迅速に連絡をとり報告・相談を行いました。また、バイタルサインだけではなく、食事摂取量、体重の変化などもご家族、ケアマネジャー、主治医に報告しました。
- ・ご利用者の状態を誰もが把握できるようミーティングで共有しました。また、常にご利用者に寄り添い、何でも話していただける関係作りを心掛け、意向に沿った対応を行いました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ポジショニングの技術はまだまだ未熟ですが、マルチグローブを全員が使用し、ご利用者に安楽な姿勢保持をしていただけるよう、意識して行動ができるようになりました。

## 通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	22	23	20	23	22	21	22	21	22	22	20	22	260
利用実人員	50	50	50	52	50	52	50	50	46	46	46	53	595
利用延人数	397	410	356	416	372	408	428	372	353	350	327	390	4579
利用率	72.1	71.3	71.2	64.7	67.6	78.7	77.8	70.9	64.2	63.6	65.4	70.9	70.5

\* 利用定員(月～金曜)

## 介護度別利用状況

介護度	令和元年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	7	204	4.5%
要支援2	16	872	19.0%
要介護1	19	1635	35.7%
要介護2	14	1098	24.0%
要介護3	10	734	16.0%
要介護4	0	0	0.0%
要介護5	1	36	0.8%
合計	67	4579	100%

(3)居宅介護支援事業

1. 業務管理・改善への取り組み

- ・法令に沿った書類の整備のために、内容の簡素化に取り組みました。アセスメントには十分に時間をかけ、より適したケアプランの作成を行いました。

2. 関係機関との協力体制

- ・各関係機関の担当者と、日頃よりコミュニケーションを密に良好な関係が継続できました。また必要時には、ご利用者の状況の報告・連絡・相談を十分に行い、チーム一丸となって関わることができました。

3. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・同じケアマネジャー や多職種との会に定期的に参加し、ケアマネジメント業務に役立つ知識を多く得ることができました。総合事業のご利用者についても、過誤のない給付管理が行えました。

## 居宅支援事業実績

## 市町別居宅サービス計画実績 (内要支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	42 (3)	43 (3)	42 (4)	41 (4)	41 (3)	42 (2)	42 (1)	41 (1)	38 (2)	41 (2)	37 (3)	39 (4)	489 (32)
計	42 (3)	43 (3)	42 (4)	41 (4)	41 (3)	42 (2)	42 (1)	41 (1)	38 (2)	41 (2)	37 (3)	39 (4)	489 (32)

## 要介護度別状況 令和元年度末

介護度	作成者数
要支援 1	1
要支援 2	3
要介護 1	16
要介護 2	13
要介護 3	8
要介護 4	1
要介護 5	1
計	43

## 支給申請の手続き代行及び、認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	4
住宅改修支給申請	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
介護保険申請代行	2	2	4	2	3	0	3	2	2	0	2	4	26
介護保険認定調査	0	0	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	14

(4)その他の事業

1. 給食サービス事業

- ・ふれあいランドにて会食方式で昼食を提供しました。ご利用者同士の交流、電気療法や筋力トレーニングを実施しました。また、買い物に不便をきたしている方が多いため、近隣のスーパーへのお買い物ドライブを実施しました。一人暮らしで不安を抱えている方が多く、生活全般に関する相談、アドバイスを行いました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者が現在の心身状態を維持できるようバイタル測定、電気療法を実施し、健康維持について意識していただけるよう支援しました。新年にはご利用者からの要望を受け、初詣に出かけました。また月に1回買い物外出を実施しました。

3. ふれあいランド友の会

- ・一人暮らしで外出手段にお困りの方に、受診を中心に行行政手続き、金融機関への送迎を実施しました。ふれあいランドでは、ご利用者同士で交流を図り、会食を行いました。また生活全般に関する相談があれば、アドバイスを行い、不安の解消に繋げました。

4. まんのう町琴南高齢者生活福祉センター

- ・入居者の高齢化により健康に不安を持つ方が大半です。朝夕の安否確認、緊急時のナースコールにも迅速に対応しました。また、ご家族、関係機関とも情報共有を密に行っていました。近隣に商店がない為、月1回スーパーへの買い物を実施しました。また定期的に防災訓練、設備点検を行い、安心安全な生活環境づくりを行いました。

## 生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	36
利用延人員	28	15	26	11	11	8	19	3	13	8	16	7	165
1日平均利用者	7.0	7.5	6.5	5.5	2.8	4.0	4.8	1.5	3.3	4.0	4.0	3.5	4.5

## 年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	15
5	買い物外出	マルヨシセンターでの買い物	15
6	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	14
7	買い物外出・踊り鑑賞	デイリーマート、マルヨシセンターでの買い物 踊りボランティア「つくし会」の訪問	11
8	脳トレーニング・軽体操 高校野球TV観戦	全員で教材に沿って実施	10
9	買い物外出	マルヨシセンター、美馬道の駅での買い物	8
10	脳トレーニング・軽体操・小運動会	デイサービス利用者と小運動会を実施	10
11	買い物外出	マルナカまんのう店での買い物	3
12	脳トレーニング・軽体操・餅つき	デイサービス利用者と餅つき行事に参加	8
1	脳トレーニング・軽体操・初詣	滝宮天満宮への初詣	8
2	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	8
3	買い物外出	デイリーマートでの買い物	7

## 給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食 数	24	22	23	20	18	21	21	21	24	23	19	22	258

## ふれあいランド友の会実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	49
食 数	33	37	42	38	40	40	56	46	39	37	41	36	485

## 琴南高齢者生活福祉センター

## 月別入所世帯(毎月1日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所世帯	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
人 数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

## 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## V. グループホーム

よりあい

### (1) 認知症対応型共同生活介護事業

ご利用者にとって自宅の次にゆったりと心地よく生活を送っていただけるためにはどうすればよいかを職員間で考えました。ご家族や地域社会との関係を大事にし、穏やかに暮らしていただけるよう支援しました。また、併設のデイサービスと協力してグループホームとデイサービス間の交流機会を計画的に作り、ご利用者に安心してやりがいのある時間を過ごしていただける取り組みをする中で、施設全体の職員のチームワークも強くなりました。

#### 1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者に接する際は、必ず意思確認のできるような声かけを行い、不安感を与えないような穏やかな表情や態度で接しました。また、認知症の症状の方にも安心していただけるようなゆったりとした関わり方を心がけました。すべての職員が常に徹底するところまでは行えていない時もあり、今後も取り組んでいきます。
- ・ご利用者について気づいたことには申し送りをしていますが、一部の職員に関しては申し送りファイル等の活用が徹底できなかった期間がありました。今後も、情報を共有し統一したサービスが提供できるよう確認します。
- ・ご家族の面会等の際には元気で気持ち良く感じていただけるような挨拶でお迎えしました。職員の方から積極的に声をかけ、ご利用者の日常の様子をお伝えしています。

#### 2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・毎日のご利用者の健康状態をよく観察し、職員で情報共有しました。毎週月～土曜日の協力医療機関医師の往診時には変化のあった状態を正確に伝えて指示に従い対応しました。
- ・ご利用者に体調不良や転倒などの事故が起きた場合には、看護職員と連携して処置等を行いました。またご利用者の急変時には、職員間で連携し、迅速に受診や救急搬送等を行いました。その中で骨折のような大きな事故はありませんでした。
- ・今年度の途中から2台目となるスタンディングリフトを購入しました。その結果、グループホームの2つのユニットに1台ずつスタンディングリフトがあることで職員がご利用者を抱えるといった介助の場面は完全になくなり、ノーリフティングケアの徹底につながりました。

#### 3. 食生活の充実

- ・施設の畑でご利用者と一緒に野菜の植え付けや収穫をし、日々の食材に取り入れました。ご家族やご近所の方々から頂いた野菜や果物も実物をご利用者に見て触っていただき、旬のメニューを味わっていただいています。
- ・日常のご利用者との会話や家族アンケートからご利用者の要望や嗜好を伺い「希望メニュー」として献立に取り入れました。また、毎月第3金曜日に、「おばあちゃんのごはん」としてご利用者に主体的に食事作りに関わっていただき、家族会でも「おばあちゃんのごはん」は好評をいただいています。
- ・今年度は食材の納入業者が変わり、外部の管理栄養士がカロリーや塩分等を計算したメニューを充実させました。また、衛生管理の観点からも、加熱や消毒の徹底を継続したこと

で、食中毒などの感染予防も実践できました。

#### 4. 適切な相談支援

- ・入所について相談を受けた際には、施設の入所要件や待機状況、サービス内容やご利用者の日常の様子をパンフレットや広報誌を活用しながらわかりやすく説明しました。早期入所のご希望にそえず、相談者が困っているような場合には、他施設の案内や在宅サービス等の提案を行い、次につなげていきました。
- ・家族懇談会を実施して、施設での生活の状況等をご家族に報告しました。意見の交換や情報共有をし、昼食会ではご家族同士またはご家族と職員が食事作りや昼食を通して話をすることができました。例年通り9月と3月に家族懇談会を予定していましたが、3月は新型コロナ感染拡大防止の観点から中止しました。
- ・ケアプランでは、ユニット会等を利用して話し合いを行い、サービス担当者会議を有意義なものにし、プラン作成に活かしました。

#### 5. 積極的な地域社会との交流

- ・葉ばたんの会をはじめとするボランティアの皆様や地域の方々に協力していただき、地域とご利用者との交流の場を継続して設けることができました。近隣の高篠小学校やこども園のこども達との交流会では、ご利用者とこども達共に大変喜ばれて多くの笑顔が見られました。
- ・10月には秋祭りを開催しました。地域の馴染みの方々がイベントに参加して下さり、盛り上げていただきました。近隣住民の方々と一緒にこどもから大人までご利用者・ご家族・職員と共に祭りを楽しみました。この秋祭りも地元で定着しており年々来場数も増えてきています。
- ・施設の駐車場を主に高篠こども園や高篠小学校の関係者にお貸しして、有効に活用いただきました。また、春には、用水路清掃に女性職員を含む2名で参加して地域の方々と一緒に活動しました。
- ・高篠地区社協主催の介護教室では、施設全館を使用し、実際の介助を体験していただきました。施設で使用している福祉用具に触れていただきながら、ポジショニングやノーリフティングの説明を行いました。
- ・まんのう町内のもう1つの認知症グループホームと運営推進会議に職員が互いに出席しました。お互いの施設の課題や取り組みを話すなど情報交換を積極的に行いました。
- ・3月に地域の方を招いての共同防災訓練を計画していましたが、コロナウイルスの関係で、施設職員のみでの訓練となりました。今後も引き続き地域の方と関係性を持った訓練を計画していきます。

#### 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・異動してきた職員が、早く職場環境に慣れて不安なく働くよう、施設全体で温かく見守りフォローしていきました。個々の役割に違いはありますが、仕事にも慣れ積極的に取り組んでいます。

- ・仕事の中で自分の役割に責任を持ち、失敗を含んだ多くの経験を積んでいくことが個人やチームの成長につながっていくことを職員会やリーダー会等で確認しました。自分の考えを持ち、その考えを自分の言葉で伝える力を向上させられるように、上司は意識的に会議や面談で問い合わせました。自分たちで考えて決めたことをきちんと継続していく職場の雰囲気はできてきてています。
- ・ノーリフティングケアが介護現場に浸透してきており、職員の身体の負担は減りました。もともと女性や高齢の職員の多い現場ではありますが、負担の軽減で長く働き続けられています。毎日の休憩時間の十分な確保には課題が残りました。

## 7. 令和元年度委員会活動

### ◇研修委員会

- ・年間計画に沿って研修を行いました。各委員会と相談、打ち合わせを行い協力しながら実施しました。
- ・研修アンケートでは「初めて知った」「再確認できました」など、職員の知識向上や振り返りの機会ともなりました。
- ・研修を受けてのアンケートは、半年後に振り返り、研修で学んだことや気づいたことを思い返して、継続的に意識できるように、今後も計画していきます。

### ◇事故防止検討委員会

- ・ヒヤリハット事例報告の啓発活動を行うことで職員への意識づけができ、件数の増加につながりました。また、事故報告は迅速に周知を行い、毎月の会議の中で事故とヒヤリハット事例の振り返りを行いました。ご利用者のリスクを把握し、要因や対応策の再確認を行い、再発防止に向けて職員間で情報共有を行うことができました。

### ◇苦情対応委員会

- ・ご利用者やご家族との会話の中から気づくことを大切に取り組みましたが、今年度はご意見が2件のみでした。今後も、職員一人ひとりが“気づき”を大切にして受け止められる研修を行います。
- ・年2回のご家族アンケートでは、提供されるおやつなどに応じて、熱いお茶を提供してほしいとの希望をいただきました。食事には毎回熱いお茶を提供していることをお伝えし、了解を頂いています。

### ◇業務改善委員会

- ・自己評価の実施はできませんでしたが、ご家族アンケートを実施して回答を基に、ご家族やご利用者の意向に沿えるよう、例えば嗜好品の提供について、ご家族と相談し、ご本人の好まれる時間帯にコーヒーを提供するなど、個別対応を行いました。
- ・マニュアルを定期的に確認していました。今後も、新たな課題や取り組みが発生した際は、その都度、マニュアルを作成確認していきます。

#### ◇広報委員会

- ・ホームページの「窓」を、毎月更新することができました。
- ・施設内行事だけでなく、日常の様子や施設での取り組みも紹介することができました。
- ・広報誌「我が家」8号9号を発行しました。予定していた日程より、記事の作成に時間がかかる等し、少し遅れての発行になりました。今後は、計画的に作成していくようにします。

#### ◇身体拘束廃止委員会

- ・毎月の会議で施設の身体拘束ゼロについて確認し、虐待につながるような不適切なケアが現場で起きていないかの確認も行いました。
- ・全職員に対して身体拘束と高齢者虐待についての研修を2回実施しました。身体拘束の定義とその先にあるリスクについて職員の理解を深めました。何気ないコミュニケーションの中でスピーチロックが起こり、ご利用者の行動を制限してしまっている職員の介護や言動について、職員一人ひとりが振り返り、気持ちを改める機会を持ちました。

#### ◇感染症予防対策委員会

- ・感染症流行時期の前に感染症に関する研修を行い、職員の危機管理意識を高めました。また、手洗いやうがいを徹底し、外出の際や体調不良時にはマスクを着用して感染予防に努めました。職員間でインフルエンザの発症がありましたが、早期受診と休養にて、ご利用者には感染はありませんでした。
- ・食中毒の予防に関しては、基本的な手洗い、消毒だけでなく、衛生調理マニュアルを遵守し、衛生的な食事を提供することができました。

#### ◇ポジショニング委員会

- ・福祉用具を活用することで、ノーリフティングケアが行え、ご利用者・職員共に、身体に負担の少ないケアが実践できました。
- ・ノーリフティングケアを共有する取り組みとして、施設内で研修を行い、ポジショニングの必要性を改めて周知しました。このような取り組みの結果、ご利用者の姿勢に応じてクッションの位置を変えたり、臥床時の姿勢を工夫したりと、職員一人ひとりが考えて実践できるようになりました。

#### ◇労働安全衛生委員会

- ・毎月、労働安全衛生に関係するテーマを決めてリーダー会やユニット会を通じて腰痛予防や生活習慣病、心身のリフレッシュについて話し合いました。また、ポスターを活用して全職員に対しての注意喚起も行いました。
- ・全職員に労働基準法上の正しい労働時間や休憩、休日、有給休暇について意識づけを行いました。職員間の偏りは小さくなり、前年度より有給休暇の取得率も上がっています。
- ・腰痛等を理由に退職する職員はいませんでしたが、腰痛ゼロとはなっていません。「長く働き続けられる職場」でいられるように、ノーリフティングケアは浸透しましたが、身体

グループホームよりあい

介助の場面以外で腰痛になりそうな動きを無くしていくという取り組みまでは進めることができませんでした。次年度に引き継いでいきます。

## 施設利用状況

入所	退所					月間空床率	延べ利用者数		
	死 亡		長期入院	施設間移動	計				
	施設内	病院							
4月	0	0	0	1	0	1	5.6	518	
5月	1	0	0	0	0	0	2.9	542	
6月	0	0	0	0	0	0	0	540	
7月	0	0	0	0	0	0	0	558	
8月	0	0	0	0	0	0	0	558	
9月	0	0	0	0	0	0	0	540	
10月	0	0	0	0	0	0	0	558	
11月	0	1	0	0	0	1	6.5	528	
12月	2	0	1	0	0	1	5.6	544	
1月	0	0	0	0	0	0	0	558	
2月	0	0	0	0	0	0	0	522	
3月	0	0	0	0	0	0	0	558	
計	3	1	1	1	0	3		6524	

介護度別	令和元年度末				年間延べ利用者数	
	介護度	男	女	計	比率	
要介護 1	0	0	0	0	0.0	122
要介護 2	0	7	7	14	38.9	2229
要介護 3	1	7	8	16	44.4	2843
要介護 4	0	1	1	2	5.6	610
要介護 5	0	2	2	4	11.1	720
計	1	17	18	53	100	6524
		平均	2.9			

市町別	令和元年度末	年間		
		利用者数	入所数	退所数
まんのう町	18	3	3	
計	18	3	3	

## 外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
入院	8	0	0	0	0	0	11	10	17	0	0	0

## 年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	1	0	0	0	1	77.0	77	77
女性	0	0	12	4	1	17	88.0	100	82
計	0	1	12	4	1	18	87.4		

## 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	0	0	3	7	6	2	0

## 入所平均在所期間

男性	5年2か月
女性	3年0か月
全体	3年2か月

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月4日	四国経営品質協議会・定例会	高松市		介護主任補佐	二宮 史光
7月10日	社会福祉会計簿記「入門講座」	"		統括課長	岡田 力也
7月25日	対人援助技術専門研修会	"		介護職員	矢野 吏香
8月9日	リスクマネジメント研修会	"		介護職員	豊田 珠見
9月6日	福祉サービス苦情対応研修会	"		生活相談員	高木 紫帆
9月13,14日	おむつフィッター3級研修	"		介護主任補佐	二宮 史光
9月24日	四国経営品質協議会・定例会	"		統括課長	岡田 力也
12月18,20,1月8 29日、2月27日	介護支援専門員更新研修	"		統括課長	岡田 力也
12月25日	通所介護事業者向け研修セミナー	"		統括課長	岡田 力也

## 施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月23、27、28、31日	接遇マナー研修	21	研修委員会
6月11、13、14、15、17、20、23日	身体拘束廃止研修	22	事故防止委員会
7月18、25、26、29日、8月18日	食中毒予防研修	22	感染防止対策委員会
8月21、22、25、27、9月4、17日	リスクマネジメント研修	23	事故防止委員会
9月23、28、10月9、16日	ポジショニング研修	23	ポジショニング委員会
10月18日	火災防災訓練(夜間想定)	10	統括課長
10月18、21、22、24、30日	結核予防研修	23	感染防止対策委員会
10月24、11月2、5、10、11、16、20日	苦情対応研修	23	苦情対策委員会
12月19、25、28、30、1月4日	インフルエンザ予防研修	23	感染防止対策委員会
11月5日	シェイクアウト地震行動訓練	12	統括課長
11月23、27日、1月4日	ノロウィルス予防研修	23	感染防止対策委員会
1月26、27、30日、2月5日	個人情報・プライバシー保護研修	23	研修委員会
1月25、26、29、2月13日	高齢者虐待・身体拘束廃止研修	23	身体拘束廃止委員会
3月12日	火災防災訓練(日中想定)	14	統括課長
3月23、30、31日、4月3日	認知症研修	23	研修委員会

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学	6月27日～6月29日	1	3

## 事故報告統計データ(年間件数)

## 【1】事故報告

## ①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	126
在宅(通所・居支・その他)	4
計	130

## ②発生場所別

場所	件数
居室	28
廊下	4
浴室	18
脱衣室	9
ホール	58
トイレ	9
食堂	3
玄関	0
施設外	0
その他	1
計	130

## ③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	20
転落	6
誤飲・誤嚥	0
異食	3
服薬管理	2
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	1
器物損壊	8
皮下出血	70
紛失	0
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	0
職員の介助中の事故	3
私物返し忘れ	1
表皮剥離	10
その他	6
計	130

## ④発生時間帯別

時間帯		件数
朝	8時～10時	13
	10時～12時	30
昼	12時～14時	9
	14時～16時	22
夕	16時～18時	12
	18時～20時	15
夜間	20時～22時	3
	22時～24時	6
	0時～2時	1
	2時～4時	3
早朝	4時～6時	4
	6時～8時	12
計		130

## ⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	0
打撲	7
皮下出血	72
すり傷	5
裂傷	3
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	11
精神不安定	0
外傷等なし	22
利用者の物品管理	6
送迎関係	0
服薬・異常なし	2
その他	2
計	130

## 【2】ヒヤリハット報告

## ①発生月別

月別	件数
4月	36
5月	44
6月	44
7月	46
8月	43
9月	35
10月	42
11月	42
12月	44
1月	45
2月	44
3月	50
計	515

## ⑥発生月別

月別	件数
4月	10
5月	9
6月	9
7月	11
8月	17
9月	18
10月	12
11月	7
12月	10
1月	9
2月	10
3月	8
計	130

## ⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	1
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	1

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	1		0		0	1
②個人の嗜好・選択に関する事項	0		0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0		0		0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0		0		0	0
⑤その他	1		0		0	1
合 計	2		0		0	2

## 身体拘束の状況

令和元年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

## 年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	3~6	花見ドライブ、昼食会	18	8	5	5
5	7~10	夏野菜の植え付け	14	11	0	0
6	14~22	あじさいドライブ	17	9	0	0
6	15	さつま芋の植え付け	10	0	0	0
7	1~7	七夕祭り	18	14	0	0
7	27	仲南荘 夏祭り	2	0	2	0
9	8	家族会(グループホーム)①	18	0	15	0
9	16	敬老の日 お茶会	18	6	0	0
10	6	秋祭り	18	0	26	17
10	10、11	運動会	3	10	0	0
10	17~19	さつま芋掘り	11	6	0	0
10	25	交通安全教室	4	6	0	0
12	23、24	クリスマス会会食	18	13	0	0
12	25	お餅つき	18	6	1	5
1	11	鏡開き	18	6	0	0
2	3	節分	18	7	0	0
2	22	家族会(デイサービス)	0	4	8	0
3	3、4	ひなまつり	18	4	0	0

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手打ちうどん	毎月第2金曜日	18	葉ぼたんの会	
	手品、歌、踊りの披露	隔月	15	なかよし会	
	おばあちゃんのごはん	毎月第3金曜日	18		ご利用者主体の食事作り
通所	生け花	隔月	14		
	誕生日会	誕生日月	7		
	手品、歌、踊りの披露	隔月	6	なかよし会	
	手打ちうどん	毎月第2金曜日	5	葉ぼたんの会	
	手作り作品	毎月	14		
	手作りおやつ	毎月	14		

## 地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	16	高篠地区用水路清掃	2	0	高篠地区の住民	11
6	12	本の読み聴かせ	10	6	ポピー	5
7	12	高篠小学校児童との交流会	18	7	高篠小学校5年生	31
9	1	介護教室	4	0	高篠地区の住民	38
9	4	高篠小学校区通学合宿もらい湯	18	0	高篠小学校4・5・6年生	6
9	18	本の読み聴かせ	10	6	ポピー	4
10	1	高篠こども園園児との交流会	18	7	高篠こども園園児	23
11	3	高篠公民館ふれあい祭り	4	0	高篠ふれあいセンターへ参加	0
2	26	本の読み聴かせ	10	6	ポピー	5

## 運営推進会議

月	日		職員	家族	町・ボランティア・民生委員・本部	かりん	合計
5	31	第1回運営推進会議	2	1	1、1、1、2	1	9
7	26	第2回運営推進会議	2	1	1、1、0、1	1	7
9	27	第3回運営推進会議	2	1	1、1、1、1	0	7
11	29	第4回運営推進会議	1	0	1、0、1、1	1	5
1	31	第5回運営推進会議	2	1	1、1、1、1	1	8

(2) 通所介護事業

**デイサービスセンターよりあい**

ゆったりとした環境の中で職員、ご利用者共に密に多く関わりを持つよう心掛けました。年々難しくなっている畑での作業では、プランター栽培や室内での収穫を取り入れ、野菜や土に触ることで季節を感じていただくことができました。このように工夫しながら、レクリエーションや行事を通して、ご利用者の身体機能の維持や、自信につながる取り組みが実践できました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ゆっくりと話ができる環境づくりに努め、自宅でのことや思いなど、ご利用者の小さな声に耳を傾けました。また、その情報を職員間で共有することで、ご利用者のサービス提供に活かしました。
- ・送迎の際やサービス担当者会などでご家族に報告や連絡事項をお伝えし、情報を共有しました。ご意見やご要望を気軽にいただけるように対応しています。細かな情報交換で信頼関係も築くことができています。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ご利用者一人ひとりに合わせて在宅生活を長く続けるため、楽しみを持って過ごせる取り組みとして、畑作業やレクリエーションでの作品作りなど、楽しんで実施できる活動を行いました。
- ・福祉用具などを活用し、身体の緊張をほぐしたり心地よく感じていただけるように、やさしく体に触ることでリラックスしていただき、安楽な姿勢で過ごしていただきました。また、ご自分での歩行が継続できるように、歌を唄いながらの足踏み体操や、歩行の際の見守りや声かけに注意して関わりました。

## 地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	22	23	20	23	21	21	23	21	21	21	20	22	258
利用実人員	11	13	13	13	13	13	12	13	13	14	14	13	155
利用延人数	124	118	107	120	105	121	122	107	111	112	118	121	1386
利用率	56.4	51.3	53.5	52.2	50.0	57.6	53.0	51.0	52.9	53.3	59.0	55.0	53.7

## 介護度別利用状況

介護度	令和元年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	7	446	32.2%
要介護2	7	524	37.8%
要介護3	2	125	9.0%
要介護4	2	253	18.3%
要介護5	2	38	2.7%
合計	20	1386	100%

## VI. デイサービスセンター

おひいさん

(1) 通所介護事業

デイサービスセンターおひいさん

民家型小規模事業所のサービスを必要とされている地域の方々に、その特徴をお伝えする活動も行いながら、求められるサービスの質の向上に取り組みました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者の状態変化に注意し、ご本人はもちろんご家族やケアマネジャーとの連絡を大切にし、情報共有を進め迅速な対応を行いました。特に、連絡手段は、できる範囲で相手の方に合わせことで、スムーズな連携を行うことができました。
- ・引きこもりになりがちな高齢者の方々にもサービスの利用を継続していただけるように、何気ない日々の会話の中でやりたいと思えることを一緒に確認しました。特に日常の生活の中での活動（家事や菜園での活動、旬の花や小枝を使った花活け、食卓を囲んでの賑やかな団らん、趣味の話題など）を取り入れながら楽しく思えることを一つずつ増やす活動をしていきました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・高齢による心身の機能低下予防のために、ご利用者個々にあった脳トレやリズム体操、口腔体操、また無理なく参加していただけるように、説明と対話を大切に実施しました。
- ・体を動かす各種トレーニングは、聞き覚えのある童謡や唱歌を大きな声で一緒に歌いながら行いました。認知機能の刺激や呼吸機能の訓練、また自然な笑い声を意図的に引き出すことで免疫力向上につなげました。
- ・今年度も善通寺市の取り組みとしての医療介護連携会議に参加し、ケアマネジャー・医療・歯科・薬局(複合ドラッグストア含む)・訪問看護・リハビリ職などの関係事業所との連携支援の輪の一役を担えるように試行錯誤しながら取り組みました。
- ・ポジショニングの取り組みについては、個別に車いすやベッドのご利用者、飲食時の姿勢などにも気を配り、誤嚥防止や腰痛やひざ痛の防止に取り組みました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・傾聴ボランティア3名による月2回の活動の場を提供しています。地元出身で年齢も近く、昔の地元の暮らしの話題や地元の方言、懐かしい歌など、ご利用者も次第に引き込まれ全員が活気ある時間を持つことができました。
- ・開設から継続実施している近所の方のサロン「お茶会」ですが、主要な方が引っ越しされ、高齢化に伴い送迎の必要性も出てきたため、可能な限り対応しました。
- ・運営推進会議では、外部の方々へおひいさんの日常をお伝えし貴重なご意見を伺いました。それぞれの立場を越えた情報交換をする場となり、短時間ですが有意義な時間となりました。2回目の実施は新型コロナ感染症予防のため保険者とも協議し、延期することとなりました。
- ・近隣のN P O法人くすくすから定期的に子供たちの訪問がありました。ご利用者は自分の

孫やひ孫と接している様子で、昔の大家族のようにぎやかさを懐かしく思い出す機会となりました。

#### 4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・個々のご利用者に合わせた対応が求められる中、それぞれの職員の経験や工夫を集め、話し合い実践を通して、職員個々の経験値の向上も図りました。
- ・時間差出勤の職員が多いため情報の共有には特に気を配り、連絡ノート、情報共有ファイルなど継続的に改善を重ね、チームワークが発揮出来る環境を作りました。
- ・他施設とも情報共有を進め働きやすい職場環境を目指して、満濃荘デイサービス、仲南荘デイサービスにそれぞれ1名ずつ職員を派遣し交換研修を実施しました。また、監督者としての部下とのコミュニケーション技術の向上について本部主催の研修に参加しました。

## 地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	22	257
利用実人員	24	23	24	23	23	24	21	21	20	16	18	18	255
利用延人数	166	166	148	151	148	149	155	137	136	113	104	137	1710
利用率	75.5	72.2	74.0	65.7	67.3	71.0	67.4	65.2	68.0	56.5	52.0	62.3	66.4

## 介護度別利用状況

介護度	令和元年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
要支援1	7	348	20.4%
要支援2	6	373	21.8%
要介護1	6	547	32.0%
要介護2	2	288	16.8%
要介護3	2	83	4.9%
要介護4	1	71	4.2%
要介護5	0	0	0%
合計	24	1710	100%

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
8月28日	指定介護予防事業所研修(アセスメント)	善通寺市		管理者	高田雅史
9月4日	在宅医療介護連携研修（事例）	善通寺市		管理者	高田雅史
10月23日	在宅医療介護連携研修（見守りネット）	善通寺市		看護師	安藤有美子
11月15日	結核予防研修	丸亀市		看護師	安藤有美子
11月15日	レクリエーション研修(おじやみ)	まんのう町		介護職	藪内千春
11月27日	指定介護予防事業所研修(職場ストレス)	善通寺市		介護職	藪内千春
2月12日	在宅医療介護連携研修(救急救命)	善通寺市		管理者	高田雅史

## 施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月18日	摂食・嚥下研修	2	看護職員
5月16日	防災訓練(水害想定)	3	管理者
6月20日	感染症予防研修	5	看護職員
7月18日	認知症研修	1	管理者
7月25日	防災訓練(火災想定)	1	管理者
8月30日	身体拘束、高齢者虐待	3	管理者
9月30日	事故防止研修	2	管理者
11月5日	防災訓練 シェイクアウト(地震対応)	3	管理者
11月12日	感染症予防研修	4	看護職員
12月17日	交通安全	4	管理者
1月20日	個人情報・プライバシー研修	4	管理者
2月12日	アセスメント・モニタリング研修	4	管理者
3月11日	防災訓練(火災想定)	3	管理者

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
松寿会交換研修	7月26日	1	1
お仕事体験 オリエンテーション	10月26日	1	1
お仕事体験（くすくすキッズ）	11月4日	1	1
お仕事体験（くすくすキッズ）	11月11日	1	1

## 事故報告統計データ(年間件数)

### 【1】事故報告

#### ①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	
在宅(通所・居支・その他)	9
計	9

#### ②発生場所別

場所	件数
居室	1
廊下	0
浴室	0
脱衣室	0
ホール	2
トイレ	0
食堂	0
玄関	0
施設外	1
その他	5
計	9

#### ③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	2
転落	0
誤飲・誤嚥	0
異食	0
服薬管理	0
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	0
皮下出血	0
紛失	0
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	1
職員の介助中の事故	0
私物返し忘れ	5
表皮剥離	0
その他	1
計	9

#### ④発生時間帯別

時間帯		件数
朝	8時～10時	1
	10時～12時	0
昼	12時～14時	1
	14時～16時	3
夕	16時～18時	4
	18時～20時	0
夜間	20時～22時	0
	22時～24時	0
	0時～2時	0
	2時～4時	0
早朝	4時～6時	0
	6時～8時	0
計		9

#### ⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	0
打撲	0
皮下出血	0
すり傷	0
裂傷	0
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	0
精神不安定	0
外傷等なし	3
利用者の物品管理	5
送迎関係	0
服薬・異常なし	0
その他	1
計	9

### 【2】ヒヤリハット報告

#### ①発生月別

月別	件数
4月	5
5月	5
6月	6
7月	5
8月	7
9月	5
10月	5
11月	4
12月	6
1月	9
2月	5
3月	5
計	67

#### ⑥発生月別

月別	件数
4月	0
5月	1
6月	0
7月	2
8月	1
9月	0
10月	0
11月	0
12月	0
1月	2
2月	3
3月	0
計	9

#### ⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	0
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	0

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項			2		0	2
②個人の嗜好・選択に関する事項			0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等			0		0	0
④制度、施策、法律に関する要望			0		0	0
⑤その他			0		0	0
合 計			2			2

## 身体拘束の状況

令和元年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も継続して取り組みます。

## デイサービス年間行事等実績

月 日	行 事 内 容	備 考(詳 細)	参 加 人 員
4/4～5/17(12日間)	春野菜・花の栽培	手入れ・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	60
4/25	新緑野外お茶会	庭の新緑と花に囲まれて、抹茶の会 野点	14
5/21～11/5(30日間)	夏野菜・花の栽培	種蒔き・苗植え付け・支柱たて・誘引・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	146
6/4,6,11,17,18	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:シロップ作り(梅、杏)	39
6/25～6/28	七夕飾り作り	折り紙等で、七夕の飾り作り	25
7/2～5	七夕	笹に七夕の飾りつけ、行事食・おやつ	39
7/1	おひいさん開所記念	行事食、おやつ	11
7/4,11,16,19	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:ジャム作り(杏、ブルーベリー、ブラックベリー)	25
8/1	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:シソジュース作り	3
9/16～18	敬老会	行事食、手作りカードプレゼント	34
9/27	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:柿の渋抜き	3
10/8,9,14,24	秋の味覚を味わう会	さんま炭焼き(10/9,14野外食)(10/8,24室内実施)	43
11/14,15,19,20,12/10	冬春野菜・花の栽培	種蒔き・苗と球根植え付け・手入れ	34
12/20～26	クリスマス飾り作り	折り紙等で、クリスマスの飾り作り	23
12/24～27	クリスマス・忘年会	行事食:すき焼き、ケーキ、手作りカードプレゼント	46
1/6～10	絵馬づくり		22
1/13～15	鏡開き	手作りおやつ:ぜんざい	19
1/31,2/3～5	節分	豆まき、行事食:イワシ料理、巻き寿司	31
1/30,3/11,12,20	冬春野菜・花の栽培	手入れ・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	18
3/2～4	ひな祭り	行事食・おやつ:ちらし寿司 ひなあられ 甘酒	20
3/20	お彼岸	行事食:ぼた餅	11
3/24～26	桜のお花見食事会	庭の桜の下で野外食:手作りお花見弁当	33

## レクリエーションメニュー(月間・週間・毎日)

内 容	実 施 日	備 考(詳 細)
体操・口腔体操・リズム体操	毎日	
創作活動	ご利用者の希望に応じて毎日	スケッチ・切り絵・塗り絵・折り紙・貼り絵 など
運動レクリエーション	〃	ゴムボール投げ、ボーリング など
脳トレーニング	〃	計算・間違い探し・ジグソーパズル・日記・ゲームなど
歌謡曲・落語・漫談・浪花節	〃	リクエストにより視聴
調理補助 屋食の下ごしらえ	ご利用者に応じて 隨時	収穫野菜のそうじ、いりこ袋つめ など
洗濯干し・たたみ	〃	
庭で植物栽培、散歩、花生け	3月～10月ご利用者に応じて 隨時	花・野菜の植付け、手入れ、収穫、花摘み、花生け、散歩、休憩(お茶)
お誕生日のお祝い	ご利用者の誕生日前後の利用日	手作り誕生日カードのプレゼント

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
通所	抹茶の会	4/25,6/21, 10/22	14	近隣地域ボランティア (お茶会参加者より)	抹茶と季節のお菓子を提供
	傾聴ボランティア	毎月1回	7	野田弘子様、長野和子様	ご利用者との交流
	"	毎月1回	7	山路俊英様	ご利用者との交流

## 地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
9	19	第1回おひいさん運営推進会議		3	包括支援センター 自治会長 民生委員 利用者家族代表	4
10	4	獅子舞の訪問		13	近隣住民の方々	10
5	15	児童デイサービスの子供達との交流		12	NPO法人 子育てネットくすくす	9
6	26	"		9	"	7
10	31	"		8	"	6
1	31	"		10	"	14

## カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加 人数	ボラン ティア数
5	25	お茶会	近隣地域の方々のサロン。14:00～15:00 無料 介護のお困りごとやご要望をお聞きし、情報提供する場。	5	0
7	27	"	"	8	0
9	28	"	"	8	0
11	30	"	"	8	0